



インタラクティブフラット パネル

ユーザーマニュアル

法的情報

このドキュメントについて

- このドキュメントには、製品の使用および管理に関する説明が含まれています。以下に記載されている写真、図、画像、およびその他の情報は、説明および解説のみを目的としています。
- この文書に記載されている情報は、ファームウェアのアップデートなどの理由により、予告なく変更される場合があります。この文書の最新バージョンは、Hikvision のウェブサイト (<https://www.hikvision.com>) をご覧ください。別段の合意がない限り、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその関連会社 (以下「Hikvision」) は、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証も行いません。
- このドキュメントは、製品サポートの専門知識を有する専門家の指導と支援を受けてご使用ください。

この製品について

- この製品は、購入された国または地域でのみアフターサービスサポートを受けることができます。
- お選びいただいた製品がビデオ製品の場合は、以下の QR コードをスキャンして「ビデオ製品の使用に関する取り組み」を入手し、よくお読みください。



知的財産権の承認

- ヒクビジョンは、本文書に記載される製品に組み込まれた技術に関する著作権および/または特許権を保有しています。これには、第三者から取得したライセンスを含む場合があります。
- 本文書の一部（テキスト、画像、グラフィックなど）は、Hikvision に帰属します。本文書のいかなる部分も、書面による許可なく、その全部または一部を、いかなる手段によっても、抜粋、複製、翻訳、または改変することはできません。
- **HIKVISION** およびその他のヒクビジョンの商標およびロゴは、各管轄区域においてヒクビジョンの財産です。
- 他の商標およびロゴは、それぞれ該当する所有者の財産です。
- **HDMI**™ HDMI および HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

免責事項

- 適用される法律で許される最大限の範囲において、本文書および記載された製品（ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は「現状有姿」かつ「一切の欠陥およびエラーを含む」状態で提供されます。HIKVISION は、商品性、満足のいく品質、特定の目的への適合性を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的な保証は一切行いません。本製品の使用は、お客様ご自身の責任において行ってください。いかなる場合においても、HIKVISION は、事業利益の損失、事業の中断、データの損失、システムの破損、または文書の損失を含むがこれらに限定されない、特別、結果的、偶発的、または間接的な損害について、お客様に対して一切の責任を負いません。システムの破損、または文書の損失を含む損害について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製品責任、またはその他の理由に基づくものであっても、製品の使用に関連して生じた場合であっても、HIKVISION は一切の責任を負いません。
- お客様は、インターネットの性質上、セキュリティ上のリスクが内在していることを認識し、サイバー攻撃、ハッカーの攻撃、ウイルス感染、その他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常な動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について、HIKVISION は一切の責任を負わないことを認めるものとします。ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常な動作、プライバシーの漏洩、またはその他の損害について一切の責任を負いません。ただし、必要に応じて、HIKVISION はタイムリーな技術サポートを提供します。

- あなたは、この製品を適用されるすべての法律に準拠して使用することに同意し、あなたの使用が適用される法律に準拠していることを確保する責任はあなたのみにあります。特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用することについて責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発に関連する活動、または安全でない核燃料サイクルに関連する活動、または人権侵害を支援する活動を含む、いかなる活動にも使用してはなりません。
- 本文書と適用法との間に矛盾がある場合は、適用法が優先するものとします。

© Hangzhou Hikvision Digital Technology Co.無断複写・転載を禁じます

序文

適用対象モデル

このマニュアルは、インタラクティブ・フラットパネルに適用されます。

シンボル規約けいや

この文書に含まれる記号は、以下のとおり定義されます。

記号	説明
 Note	本文の重要なポイントを強調または補足するための追加情報を提供します。
 Caution	潜在的な危険な状況を示し、回避しない場合、機器の損傷、データ損失、性能の低下、または予期しない結果を引き起こす可能性があります。
 Danger	回避しないと、死亡または重傷につながる可能性の高い危険を示します。

目次

第1章 序論.....	1
第2章 操作およびメンテナンスの注意事項.....	2
2.1電源ケーブルの使用.....	3
2.2清掃とメンテナンス.....	3
第3章 接続と設置.....	4
3.1設置時の注意事項.....	4
3.2外観とインターフェース.....	4
3.2.1 フロントパネルおよびインターフェース.....	4
3.2.2 メインボードのインターフェース.....	6
3.2.3 パーソナルコンピュータ（PC）への接続.....	6
3.3内部コンピュータの設置.....	7
3.4取り付け.....	8
第4章 起動とシャットダウン.....	11
4.1デバイスの起動.....	11
4.1.1 コンピュータボックスなしでインストール.....	11
4.1.2 コンピュータボックスを使用してインストール済み.....	11
4.2エコモード.....	11
4.3シャットダウン.....	11
第5章 メニュー操作.....	13
5.1基本操作.....	13
5.2システムバー.....	14
5.3入力ソース.....	15
5.4ネットワーク.....	15
5.5コントロールメニュー.....	15
5.5.1 注.....	16
5.5.2 スクリーンショット.....	18
5.5.3 投票機.....	18
5.5.4 ランダム選択.....	20
5.6カメラ機能.....	22
5.6.1 カメラ.....	22
5.6.2 ビデオ.....	22
5.6.3 設定.....	23
第6章 システム設定.....	26
6.1ネットワーク設定.....	26
6.1.1 有線ネットワークの設定.....	26
6.1.2 ワイヤレスネットワークの設定.....	27
6.1.3 WLAN ホットスポット設定.....	28
6.2表示設定.....	29
6.3オーディオ設定.....	30
6.4言語および入力設定.....	31
6.5日付と時刻の設定.....	31
6.6アプリケーション管理.....	32
6.7Bluetooth.....	33
6.8補助機能.....	33
6.8.1 インテリジェント温度制御.....	33
6.8.2 スマートリモートコントロール.....	34
6.9詳細設定.....	34
6.10ユーザー設定.....	38
6.11デバイス情報.....	39

6.12	ネガティブスクリーン	39
第7章	インテリジェントアプリケーション	41
7.1	ファイルブラウザ	41
7.2	ブラウザ	42
7.3	ホワイトボード	42
7.3.1	ツールバーの基本操作	43
7.3.2	その他のツール	44
7.3.3	ホワイトボードの管理	48
7.3.4	ホワイトボードを保存	48
7.3.5	ホワイトボードを共有する	49
7.3.6	その他の機能	50
7.4	WonderCastServer	51
7.4.1	NFC 画面 ミラーリング	51
7.4.2	その他の画面ミラーリング	51
7.5	システムにプリインストールされたアプリケーション	52
第8章	付録A FAQs	54

第1章 序論

インタラクティブフラットパネル（以下、「本装置」という）は、コンピュータ、プロジェクター、インタラクティブホワイトボード、サウンドボックス、広告機などの機能を統合したものです。本装置は、4Kディスプレイ、赤外線タッチ、人間と機械の相互作用、マルチメディア情報処理、ネットワーク伝送などの複数の技術を採用しており、書き込み、注釈、マルチスクリーン共有、リモートビデオ通話（オプション）などのさまざまな機能を提供します。

この装置は、主に、オフィス、会議室、マルチメディア教室、展示会場などでの、遠隔ビデオ対話、研修、指導、医療相談などのイベントに使用されます。

主要な機能

- 最大 3840× 2160 の解像度を持つ Ultra HD ディスプレイ。
- 20pxの超細字書きと、2mmの直径を1mmの精度で認識可能です。
- USB 3.0に対応しています。
- 内蔵Wi-Fiにより、ケーブル接続なしで画面ミラーリングが可能です。
- 内蔵のインタラクティブホワイトボードシステムで、QRコードによる注釈付けと共有が可能です。
- ループアウト表示に対応しています。
- デバイス接続用の各種オーディオ・ビデオインターフェースを搭載。
- 内蔵ネットワークスイッチモジュールにより、ネットワークスイッチが不要。
- 内蔵のAndroidシステムで多様なアプリケーションを利用可能です。
- OPS/OPS-Cデバイスに対応し、内蔵システム間のスムーズな切り替えを実現します。
- 超薄型デザインにアルミニウムプロファイルフレームを採用。
- モニターの健康的な使用に関する推奨事項（目の疲労防止のため）：ユーザーは長時間画面を凝視しないようにし、定期的に休憩を取ることをおすすめします。
 - 画面を1時間以上見続けた後は、遠くの景色を眺めることで目を休ませることができます；
 - 画面を1時間以上見続けた後は、目の運動を行うことで目を休ませることができます。

第2章 操作およびメンテナンスの注意事項

本製品の液晶パネルは、高精度な技術により製造されています。しかし、画面上に常に点灯している、または消えない小さな点、横から見たときに色や明るさが不均一に見える場合があります。明るさが不均一に見える場合があります。ただし、上記の現象はLCDディスプレイでは一般的な現象であり、故障ではありません。また、これらの現象はデバイスの性能に影響を及ぼしません。

すべてのブルーライトが有害なわけではありません。本当に有害なのは、波長が415nmから455nmのブルーライトです。一方、480nmから500nmのブルーライトは、人間の生物リズムを調整する役割を果たすため、人体に有益です。Hikvisionの低青色光技術は、この事実に基づいています。LEDの主な青色ピークを調整することで、この帯域のエネルギーが基本的に低減され、ハードウェアが放出する有害な青色光の割合が効果的に低減されます。同時に、パネルカラーフィルムの設計を調整することで、Hikvisionは、カラーマネジメントの点で究極の完璧な画質を確保し、視覚保護と表示効果の両方で優れた性能を実現するNiceBlueモジュールを独自に開発しました。

- 当社では、第三者の過失により生じた本製品の故障、その他の不具合または損害について、一切の責任を負いません。
- 火災や損傷の危険があるため、ほこり、高湿度、油や蒸気が付着する環境では使用しないでください。
- 直射日光や強い光源の近くには置かないでください。
- 強い放射線を発生する他の機器の近くには置かないでください。
- 本製品を雨や湿気の多い場所に放置しないでください。
- 装置を不安定な場所や安全でない場所に置かないでください。強い衝撃、振動、または振動を避けてください。
- 火災の危険を避けるため、加熱装置の近くや高温の場所では装置を操作しないでください。
- 低温環境から高温環境へ移動した場合は、結露が発生している可能性があります。環境から移動した場合は、すぐに電源を入れないでください。結露が蒸発するまでお待ちください。
- 装置内にいかなる物体も挿入しないでください。
- 装置の上に重い物を置かないでください。
- 本機および付属品は、予告なく変更される場合があります。
- ディスプレイは落下や衝撃に弱い壊れやすい材質を使用しています。取り扱いには十分ご注意ください。
- デバッグや操作中に不適切な操作を行うと、デバイスに損傷を与える可能性があります。
- 硬い物で本機を傷つけたり、叩いたりしないでください。動作中に電源を頻繁にオン/オフすると、故障や損傷の原因となります。

- 本機から煙、異臭、異音が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、サービスセンターにご連絡ください。

2.1 電源ケーブルの使用

- 電源ケーブルが損傷または故障した場合は、サービスセンターにご連絡ください。電源が適切に接地されており、シェールに貼付されているプレートに記載されている要件を満たしていることを確認してください。
- 本装置を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。雷雨の場合は、電源プラグとアンテナを取り外してください。
- 本装置を長期間使用しない場合。本装置の電源を切り、電源を抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源を切った後、短時間放電が続く場合があります。電源を切ってから2分ほど待ってから、装置の操作を行ってください。
- 本製品に付属の電源ケーブルのみを使用してください。同じ仕様の電源ケーブルを購入するには、正規販売店にお問い合わせください。
- 電源が接地されていることを確認してください。
- 電源プラグおよびコンセントに、ほこりや金属片が付着しないようにしてください。
- ケーブルをいかなる形でも改造しないでください。
- ケーブルの上に重い物を置かないでください。
- ケーブルを熱源から離して保管してください。
- ケーブルを引っ張って電源プラグを抜かないでください。
- 電源ケーブルを物理的または機械的な損傷から保護してください。
- このケーブルはインタラクティブディスプレイ専用です。他のデバイスには使用しないでください。

2.2 清掃とメンテナンス

- 後部ケースの穴は放熱用です。後部ケースに液体をかけて噴射したり、湿った布で清掃したりしないでください。
- 清掃を行う場合は、電源プラグを必ず抜いてください。
- 画面に高輝度の画像を長時間表示しないでください。
- デバイスを清掃する際は、乾いた柔らかい布を使用し、ほこりのない状態で清掃してください。
- 内部清掃が必要な場合は、サービスセンターまでご連絡ください。
- 適切なメンテナンスを行うことで、初期段階の故障を防止できます。
- 定期的にデバイスを清掃し、新品同様の状態で保ってください。
- 水、スプレー式クリーナー、または工業用化学薬品でデバイスを清掃しないでください。異物がデバイス内に侵入しないようご注意ください。
- 装置のメンテナンスは、資格を持ったサービス担当者にご連絡ください。装置が損傷した場合は、当社までご連絡ください。無断でのメンテナンスは行わないでください。

第3章 接続と設置

3.1 設置時の注意事項

- 最適な性能を発揮するため、設置前にデバイスの画面と背面を清掃してください。
- 安全のため、メーカーが提供するウォールマウントまたはベースのみを使用してください。
- 壁への取り付けは、専門スタッフにご依頼ください。
- 設置前にアクセサリを確認してください。不足がある場合は、販売店にご連絡ください。
- デバイスを過度に締め付けないでください。そうすると画面が歪む可能性があります。
- 本機は耐荷重のある壁に取り付けてください。
- 本機を安定した場所に置いたり、壁にしっかりと固定してください。
- 電源接続が容易な、使用可能な AC 電源ソケットの近くに装置を設置してください。信号の干渉を防ぐため、他の装置と同じアースケーブルを使用してください。
- 機械的な振動源の近くに装置を設置しないでください。
- 昆虫が侵入しやすい場所に本機を設置しないでください。
- エアコンの吹き出し口に直接向けて設置しないでください。結露を防ぐためです。
- 強い電磁場内に装置を設置しないでください。無線干渉を避けるためです。

3.2 外観およびインターフェース

3.2.1 フロントパネルとインターフェース



Note

- デバイスのインターフェースはタイプによって異なる
- 以下の説明は、スクリーンに向かってのものである。

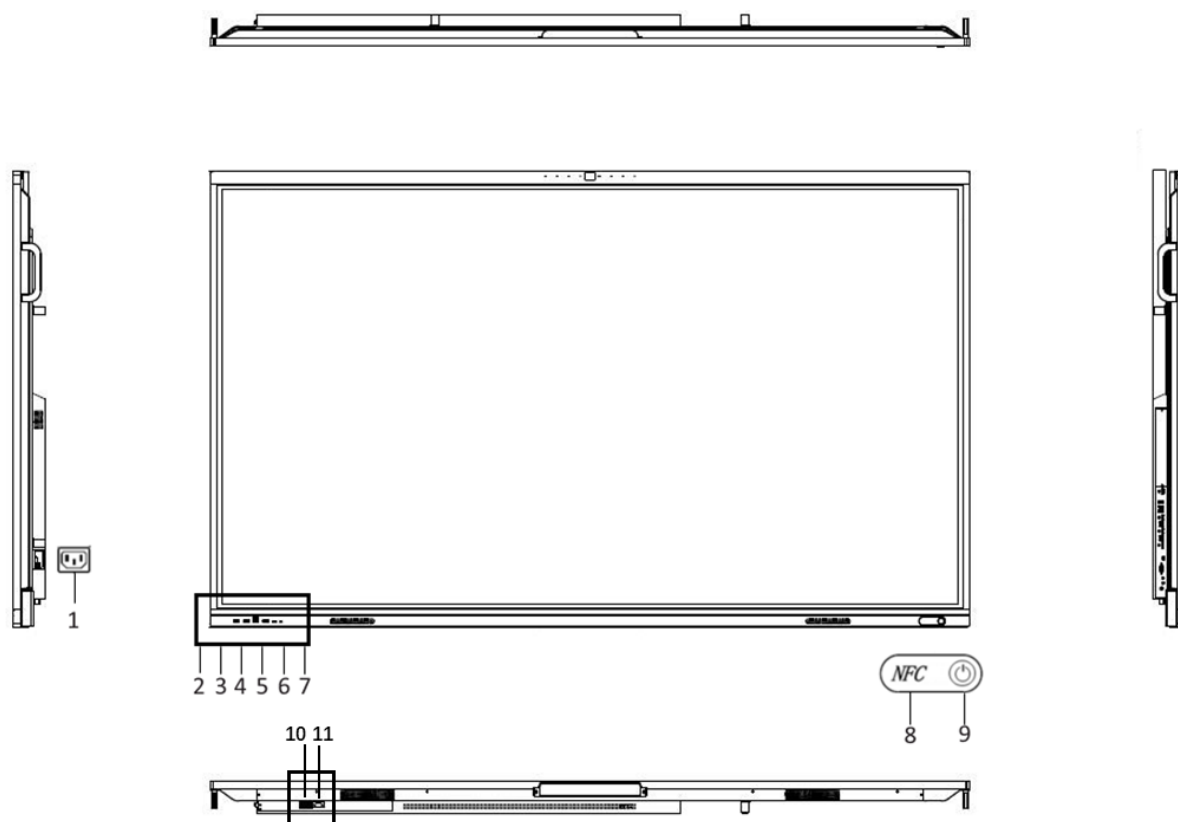


Figure 3-1 フロントパネルとインターフェース

Table 3-1 パネル 説明

No.	説明	No.	説明
1	電源インターフェース 100～240 VAC	2/3	USB 3.0
4	タッチ USB インターフェースは、ドライバプログラムなしで外付けのノートパソコンの接続に対応しています。	5	HDMI入力
6	Type-Cインターフェースは、DP、USB 2.0、および充電機能に対応しています。	7	環境光センサー
8	NFC 操作については 7.4.1 NFC画面ミラーリング を参照してください。	9	電源ボタン ● 短く押すと、省電力状態になります。 ● 長押ししてデバイスをオンまたはオフにします。
10	LANポート× 2	11	シリアルポート

3.2.2 メインボード上のインターフェイス

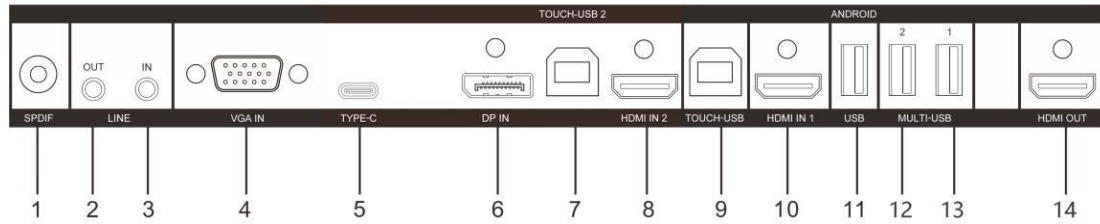


Figure 3-2 メインボードのインターフェース

Table 3-2 メインボードの説明

No.	名称	説明	No.	名称	説明
1	SPDIF	送信デジタルオーディオ	2	ライン出力	オーディオ出力インターフェース
3	ライン入力	オーディオ入力インターフェース	4	VGA入力	ビデオデバイス接続インターフェース
5	TYPE-C	タイプCインターフェース	6	DP入力	ディスプレイ入力インターフェース
7	タッチUSB 2	周辺機器タッチインターフェース	8	HDMI入力端子 2	HDMI 2 入力インターフェース
9	タッチUSB	周辺機器タッチインターフェース	10	HDMI入力端子 1	HDMI 1入力インターフェース
11	USB	USB インターフェース	12	マルチ USB 2	多機能 USB インターフェース
13	マルチUSB 1	多機能 USB インターフェース	14	HDMI出力	HDMI出力インターフェース

3.2.3 パーソナルコンピューター（PC）への接続

PCとデバイスの接続は以下のように示されています。



Caution

本機を取り付ける、または取り外す場合は、必ず電源を切ってください。

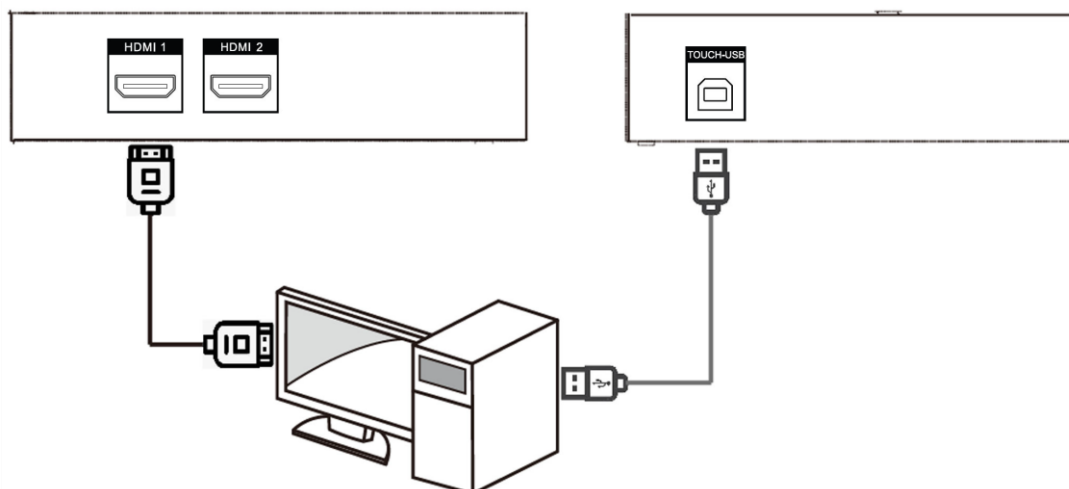


Figure 3-3 PCに接続

Note

- タッチUSBインターフェースは、本器で外付けPCをタッチ操作する場合にのみ必要です。
- HDMI信号の伝送品質を向上させるため、10メートル未満の高品質信号ケーブルを使用してください。
- USBケーブルは製品に同梱されていません。Type-AコネクタからType-BコネクタへのUSBケーブルをご購入ください。

3.3内部コンピュータのインストール

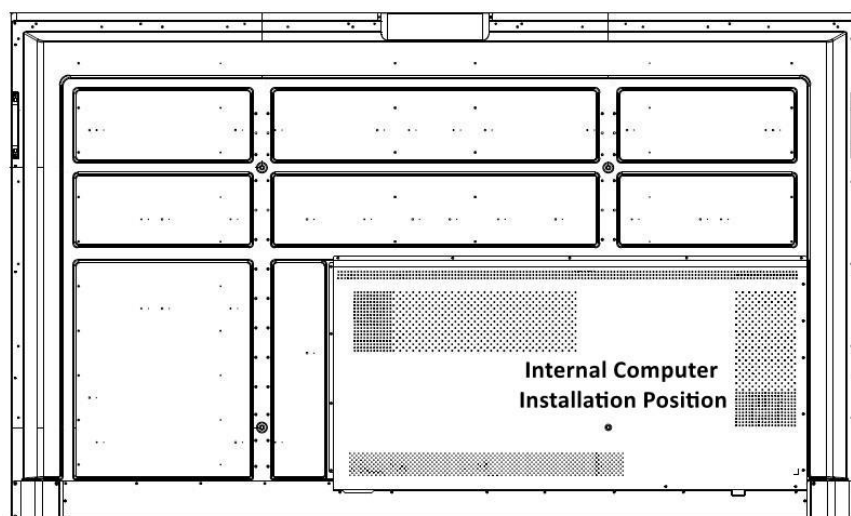


Figure 3-4内部コンピュータの取り付け

コンピュータボックスは、本機の側面スロットに設置します。ボックスを設置する際は、上の図のように、通気孔が背面パネルと同じ方向を向くようにしてください。ネジを締めて、ボックスを所定の位置に固定してください。



Danger

- コンピュータはオプションのアクセサリです。
- 本機の故障の原因となりますので、コンピュータボックスは、本機の電源を切った後に取り外してください。

3.4 取り付け

本装置は、以下に示すように、ウォールマウントまたはモバイルマウントで設置することができます。



Note

ウォールマウント用とモバイルマウント用のアクセサリは異なります。混同しないでください。

壁掛け

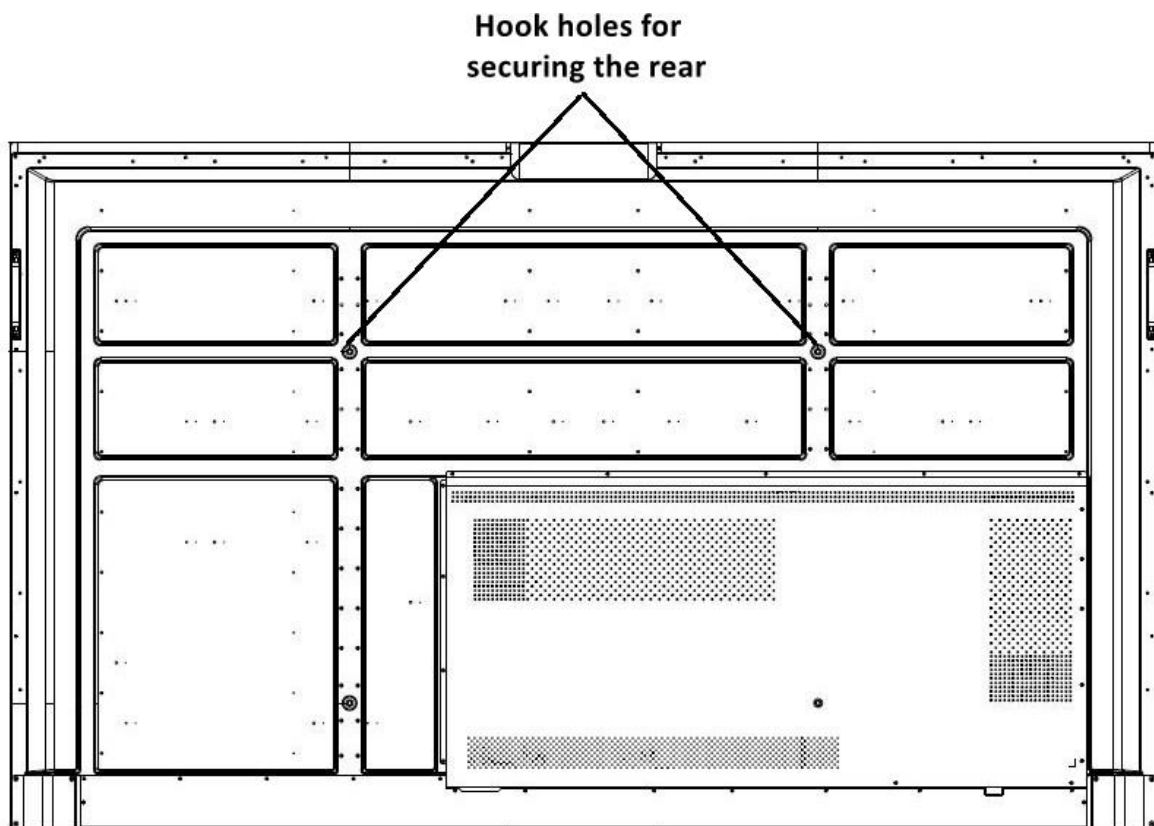


Figure 3-5ウォールマウントの背面図

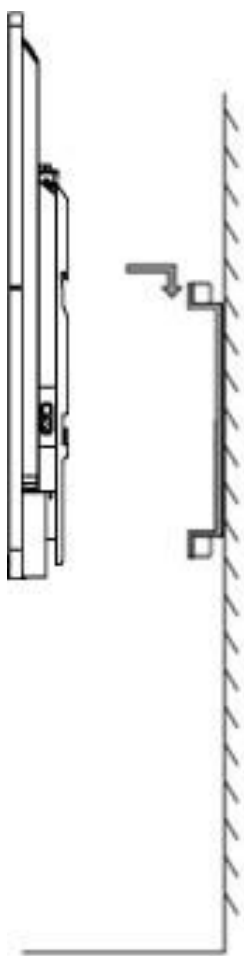


Figure 3-6ウォールマウント側面

 Note

壁取り付けは水平方向に移動可能です。メンテナンスのために、各側面（または片側）に 6 cm 以上、上下に 5 mm 以上のスペースを確保してください。

モバイル取り付け

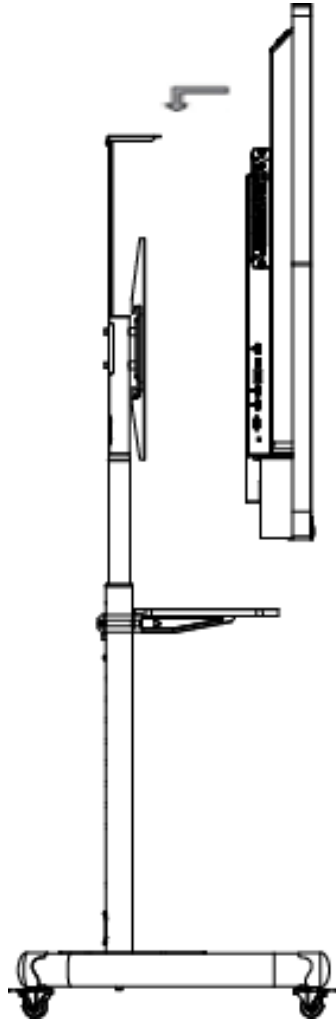


Figure 3-7 モバイルマウント

第4章 起動とシャットダウン

4.1 デバイスの起動

4.1.1 コンピュータボックスなしでインストール

Step 1 電源に接続します。

Step 2 電源スイッチをオンにすると、フロントパネルの電源インジケータが赤く点灯します。

Step 3 フロントパネルの電源ボタンを押して、デバイスの電源をオンにします。インジケータが青色に点灯します。

4.1.2 コンピュータボックスを使用してインストール済み

デバイスの電源が切れている状態でボックスを取り付け、取り付けが完了したら電源スイッチをオンにしてください。起動中、ボックスの電源インジケータが赤色に点灯し、ファンが回転し始めます。ピープ音が鳴った後、電源インジケータが緑色に変わり、コンピュータの電源がオンになります。

その間、フロントパネルの電源インジケータが青色に点灯し、デバイスが起動していることを示します。

4.2 エコモード

エコモードへの移行

フロントパネルの電源ボタンを押して、画面をオフにしてエコモードに入ります。

デバイスの起動

デバイスを起動するには、次の4つの方法があります。

- フロントパネルの電源ボタンを押します。
- リモコンの電源ボタンを押します。
- 画面のどこかを2回タッチします。
- シャオハイ、シャオハイ」と言って画面を起こす。

4.3 シャットダウン

● デバイスがコンピュータボックスにインストールされていない場合、またはコンピュータボックスの電源がオフになっている場合は、デバイスの電源を直接オフにしてください。

● コンピュータボックスが起動している状態でデバイスがインストールされている場合は、**[スタート]**をタップし、**[シャットダウン]**を選択するか、コンピュータボックスの電源ボタンを押してシャットダウンします（電源ボタンを長押しして**[シャットダウン]**を選択するか、コンピュータボックスの電源ボタンを押してシャットダウンします（電源ボタンを長押しすると強制シャットダウンになります）。その後、電源をオフにしてデバイスをシャットダウンします。

 Note

デバイスの電源を直接切ると、コンピュータボックスが強制的にシャットダウンされます。次回デバイスを起動すると、**Windows** がエラー回復モードになり、画面タッチが使用できなくなる場合があります。この場合、マウスとキーボードをデバイスに接続する必要があります。

- リモコンの電源ボタンを長押しします。

第5章 メニュー操作

Note

ソフトウェアのインターフェースおよび機能は、デバイスのモデルによって異なる場合があります。このマニュアルの図は、すべて説明のためのものです。

デバイスの電源を入れ、メインページに移動します。画面の下部にショートカットメニューが表示されます。

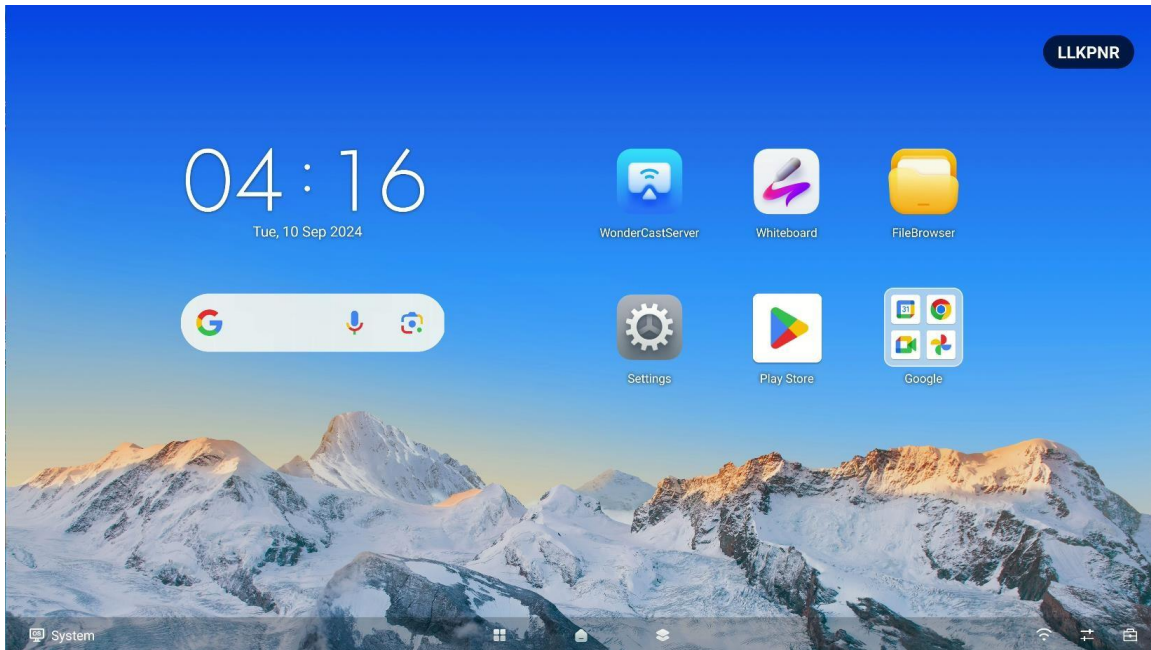


Figure 5-1 メイン画面

Note

メイン画面のアプリケーションのアイコンを長押しして、以下の操作を実行できます：

- アプリケーションを画面間移動します。
- アプリケーションをウィンドウ形式で開きます。
- アプリケーションを他のアプリケーションとフォルダーに統合します。

5.1 基本操作

ショートカットアイコンの機能は以下に説明されています。



Figure 5-2 ショートカット

Table 5-1 ショートカット 説明

No.	機能	No.	機能
1	タップして画面下部のメニューバーを非表示にします。	6	タップして、すべてのアプリまたはプロセスを選択または解除します。
2	タップして前のページに戻ります。	7	ネットワークパラメータとホットスポットを設定するには、をタップします。
3	タップして入力ソースを選択します。	8	タップして明るさと音量を設定します。
4	タップしてすべてのアプリケーションを選択します。 長押しして、選択したアプリケーションを分割画面モードまたはウィンドウモードで表示するように移動します。	9	タップしてコントロールメニューを開きます。
5	タップしてメイン画面に戻ります。		



Note

角度付きストロークがオフの場合、最大 20 本のペンを使用できますが、オンの場合は 1 本のみ使用できます。下部のバーメニューが非表示になった後は、 から呼び出すことができます。



Figure 5-3 ボトムバーを表示

5.2 システムバー

システムバーの領域を長押しして、システムバー内のアプリのレイアウトを変更できます。

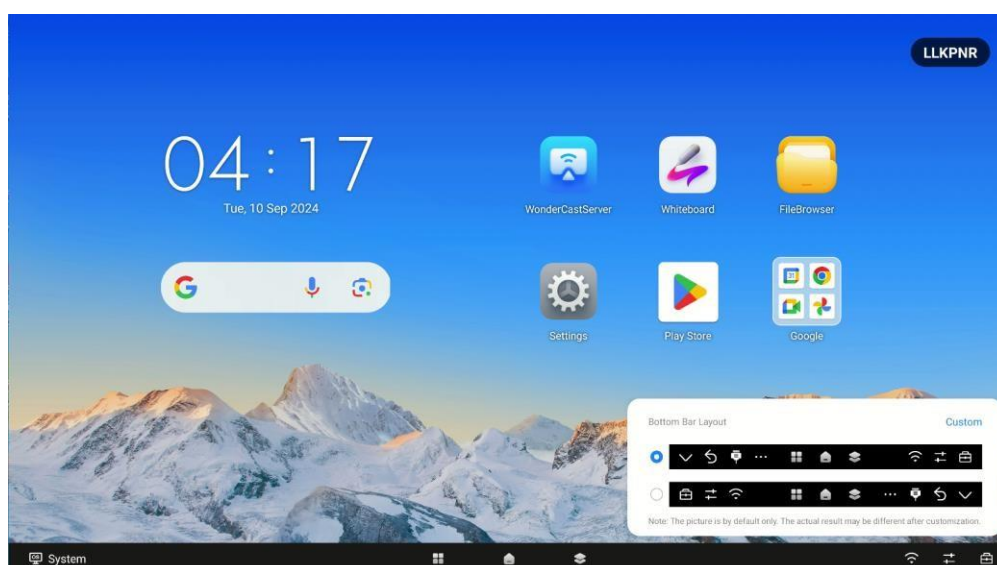


Figure 5-4 システムバーのレイアウト

「カスタマイズ」をクリックし、アイコンを移動して位置を調整します。

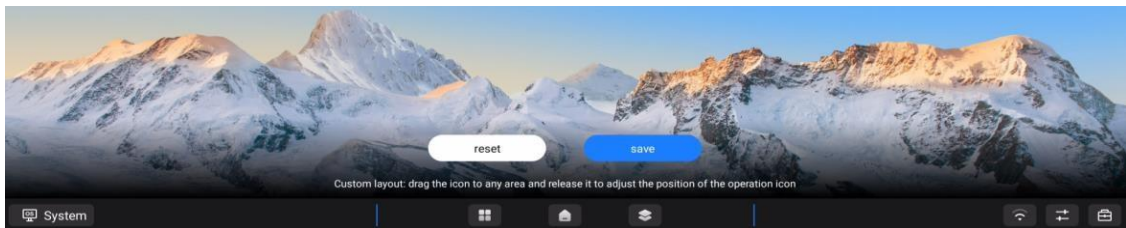


Figure 5-5 システムバーのレイアウトをカスタマイズ

5.3 入力ソース

画面下部の入力ソースアイコンをタップし、デバイスの入力ソースを設定します。システム、HDMI 1、HDMI 2、Type-C、DP、およびVGAが利用可能です。

5.4 ネットワーク

有線ネットワーク、無線ネットワーク、WLAN ホットスポットの詳細なパラメータを設定します。

ネットワーク **設定**

5.5 コントロールメニュー

画面下部の「」をタップしてコントロールメニューを表示し、必要に応じて以下の操作を設定します。

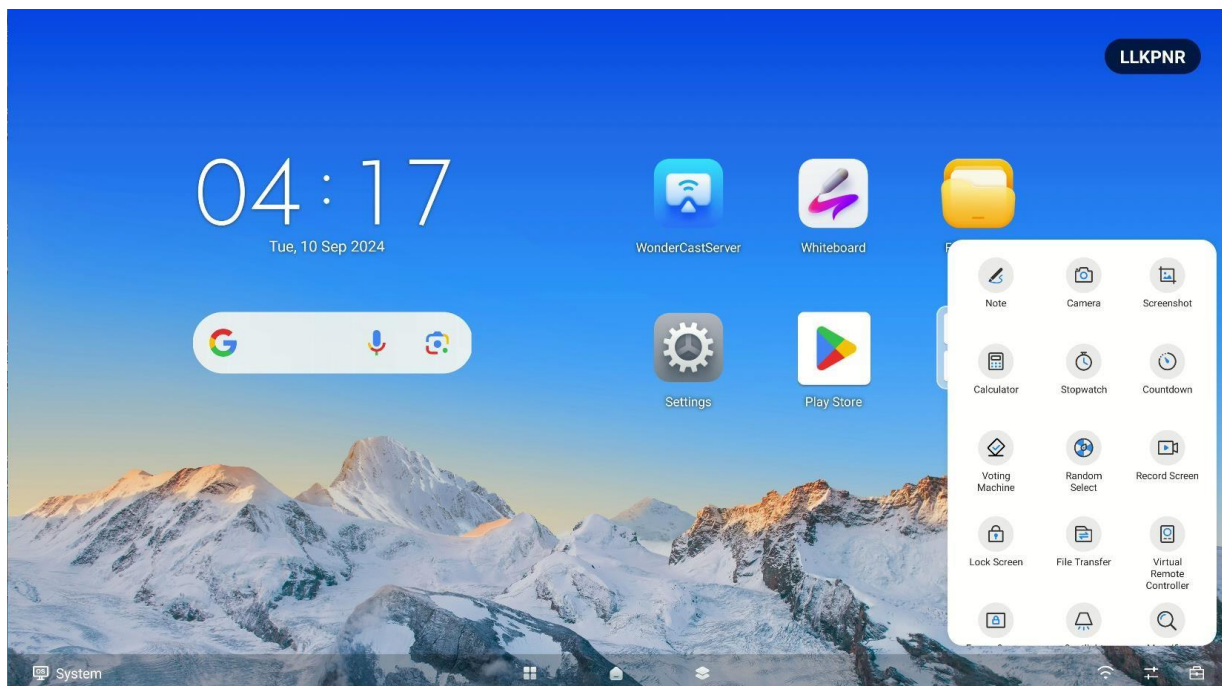


Figure 5-6 コントロールメニュー

Table 5-2 コントロールメニューの説明

ツール	説明
メモ	現在のページに注釈を追加します。
カメラ	デバイスに紐付けられているカメラを開きます。
スクリーンショット	現在の画面をキャプチャします。
電卓	内蔵の電卓を起動します。
ストップウォッチ	経過時間を測定します。
カウントダウン	秒を逆数でカウントダウンします。
投票機	投票設定を設定して投票します。
ランダム選択	1つをランダムに選択するオプションの数を設定します。
画面録画	画面をビデオとして録画します。
画面ロック	タップしてタッチロックを有効にすると、ロックされたページではタッチ操作が使用できなくなります。ロックをタップして終了すると、タッチ機能は通常に戻ります。
ファイル転送	ファイルを転送します。
バーチャルリモートコントローラ	仮想コントローラを有効にします。ホバー表示のリモコンメニューは、上、下、左、右、確定、戻る、ホームボタンに対応しており、ホバー表示の仮想リモコンの位置は移動可能です。
画面を凍結	現在の画面をフリーズします。
スポットライト	タップして絞り機能を有効にします。明るさとサイズを調整できます。
拡大鏡	拡大鏡をタップします。画面をタップするとズームインする円が表示され、移動して詳細を確認できます。円のサイズを調整できます。
メトロノーム	タップしてメトロノームを表示します。スタートボタンをタップすると、拍子が聞こえます。音符と拍子の調整が可能です。
カレンダー	日付情報を確認します。
ピアノ	バーチャルピアノツールです。
ブラック画面	画面をオフにするにはタップしてください。

5.5.1 注

 に移動します。→ メモを取るためのメモ帳です。画面をタッチして移動することで、ページ上のどこにでもメモを追加することができます。

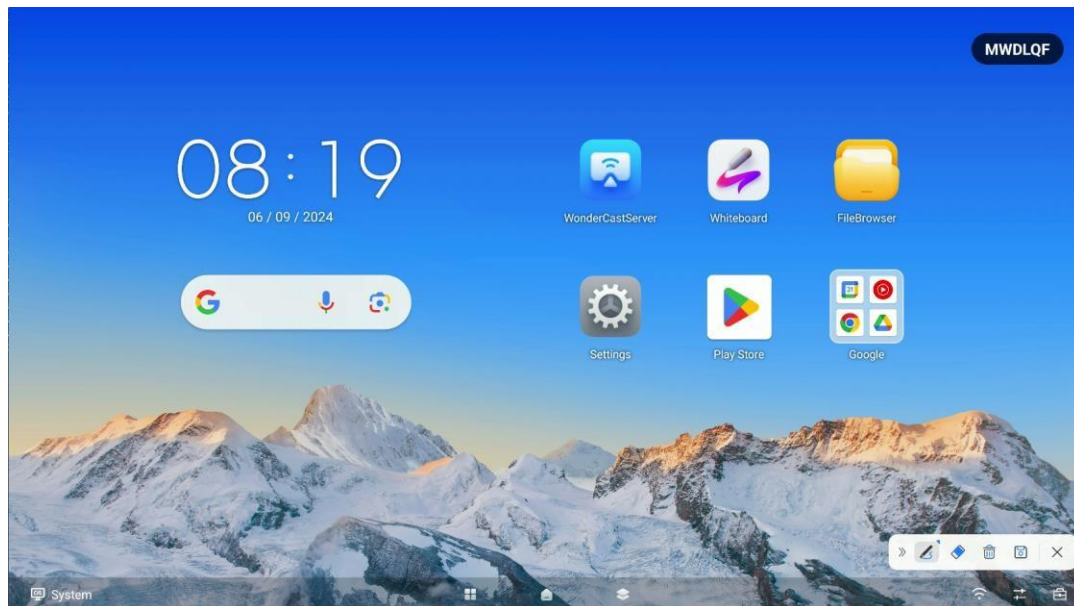


Figure 5-7 メモを取る

Table 5-3 アイコンの説明

アイコン	説明
	タップして、書くためのペンの色やサイズを調整します。 角度付きストロークを有効にするか無効にするか。タップして角度付きストローク付きの線を表示し、タップすると、角度付きストロークなしの線になります。
	タップして、削除したいノートを消去します。
	すべてのノートをクリアするにはをタップします。
	現在のページを保存するにはタップします。 フラットパネルがインターネットまたはLANに接続されている際に、ノートのQRコードを生成します。インターネットに接続されている端末またはインタラクティブフラットパネルと同じLAN内の端末は、QRコードをスキャンしてノートをダウンロードできます。
	タップしてノートを終了します。
	タップでノートツールバーを折りたたむ/展開します。

Note

斜めのストロークが使用できない場合は最大 20 本のペンを使用できますが、使用できる場合は 1 本のみ使用できます。

5.5.2 スクリーンショット

 → スクリーンショットに移動すると、現在のページにキャプチャ領域が表示されます。4つの角をタップしてドラッグし、領域を調整します。領域の右下隅にスクリーンショットツールバーが表示されます。

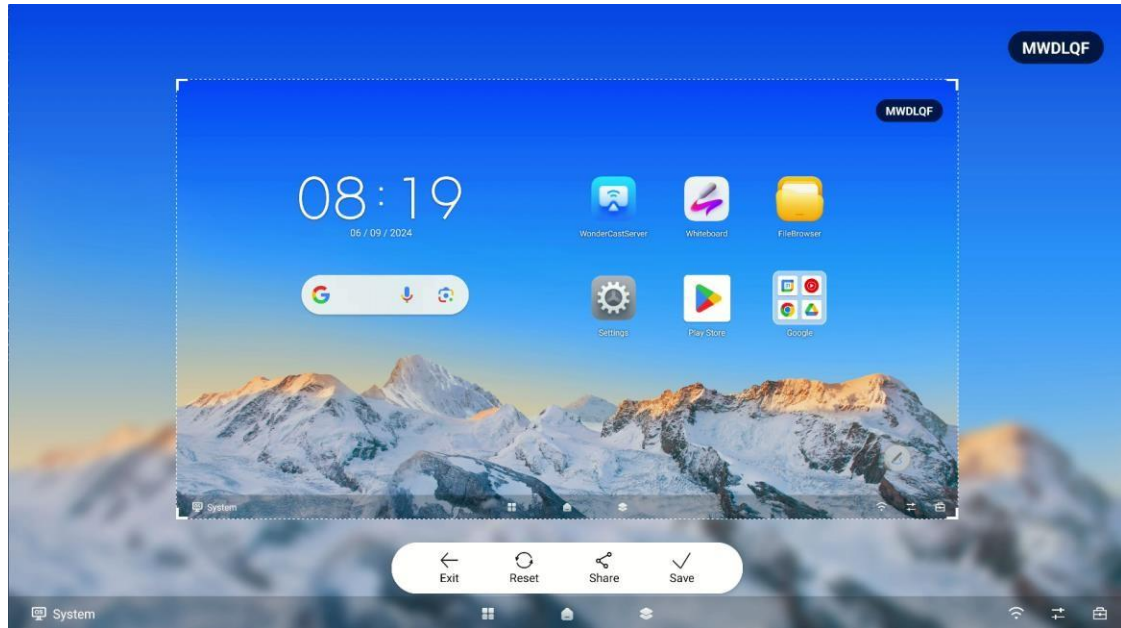


Figure 5-8スクリーンショット

Table 5-4スクリーンショットツールバーの説明

アイコン	説明
	スクリーンショットを終了します。
	ページ全体をキャプチャします。
	スクリーンショットからQRコードを生成し、インターネット接続可能な端末またはインタラクティブフラットパネルと同じLAN内の端末でQRコードをスキャンしてスクリーンショットをダウンロードできます。
	スクリーンショットをキャプチャ領域に保存します。

5.5.3 投票機

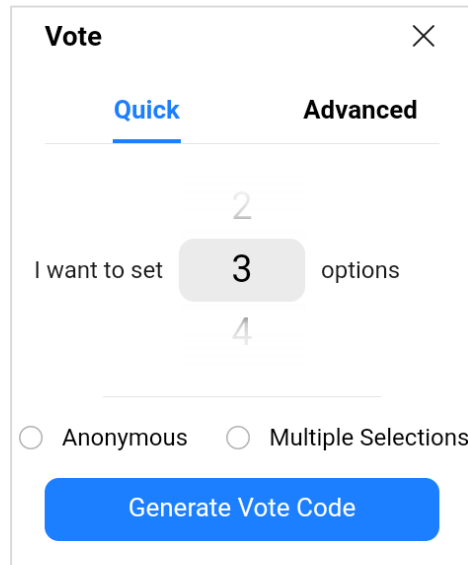
タブレットが公共ネットワークに接続されたら、コントロールメニューの「投票」をクリックします。クイック投票、または設定されたオプションに従って投票を行うことができます。

開始前に

デバイスがネットワークに接続されていることを確認してください。

クイック投票

Step 1投票オプションの数を選択するには、[クイック]をクリックします。



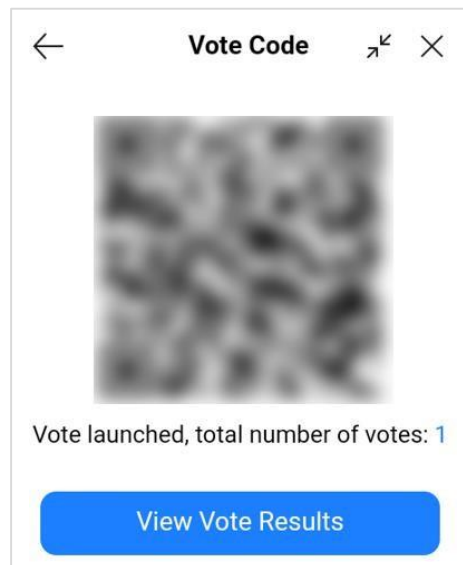
The screenshot shows a 'Vote' dialog box with a close button (X) in the top right. It has two tabs: 'Quick' (selected) and 'Advanced'. Under the 'Quick' tab, there is a numeric keypad with numbers 2, 3, and 4. The number '3' is highlighted. To the left of the keypad is the text 'I want to set' and to the right is 'options'. Below the keypad are two radio buttons: 'Anonymous' (selected) and 'Multiple Selections'. At the bottom is a blue button labeled 'Generate Vote Code'.

Figure 5-9 クイック投票

Step 2実際の要件に応じて、以下のパラメーターを設定してください。

- 匿名: 名前を明かさずに投票します。
- 複数選択: 投票時に複数の選択肢を選択します。

Step 3「投票コードを生成」をクリックし、スマートフォンでコードをスキャンして投票します。



The screenshot shows a 'Vote Code' dialog box with a back arrow, a share icon, and a close button (X) in the top bar. The main content is a large QR code. Below the QR code is the text 'Vote launched, total number of votes: 1'. At the bottom is a blue button labeled 'View Vote Results'.

Figure 5-10 スマートフォンで投票

Step 4「投票結果を表示」をクリックして投票を終了し、詳細を確認します。

Step 5オプション: 携帯電話で投票結果をダウンロードするには、「スキャンしてダウンロード」をクリックしてください。

高度な投票

Step 1「詳細設定」をクリックし、インターネット接続可能なスマートフォンでQRコードをスキャンするか、インタラクティブフラットパネルと同じLAN内に接続したスマートフォンで投票を設定します。

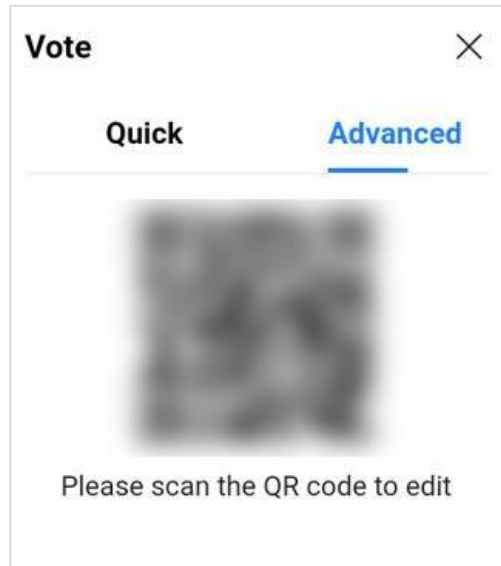


Figure 5-11高度な投票

Step 2実際の要件に応じて、以下のパラメーターを設定してください。

- 投票テーマ/投票オプション：カスタム設定。
- 匿名: 名前を明かさずに投票できます。
- 複数選択: 投票時に複数のオプションを選択できます。Step 3 携帯電話でコードをスキャンして投票するには、**[投票を開始]** をクリックします。Step 4 投票を終了して詳細を確認するには、**[投票結果を表示]** をクリックします。

Step 5オプション: **[スキャンしてダウンロード]** をクリックして、携帯電話で投票結果をダウンロードします。

5.5.4 ランダム選択

教室では、抽選を実施したり、ランダムに学生を選択して質問に答えてもらうことができます。

手順

Step 1  に移動します。→ **ランダム選択**、オプションの数を設定します。**次へ**をクリックします。

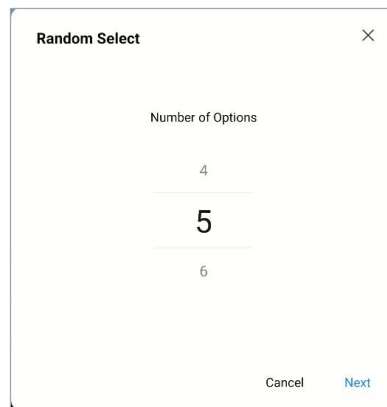


Figure 5-12 選択肢の数を設定します。

Step 2



をクリックして抽選ホイールを回転させ、もう一度クリックして停止します。すると、ランダムに選択された選択肢が表示されます。

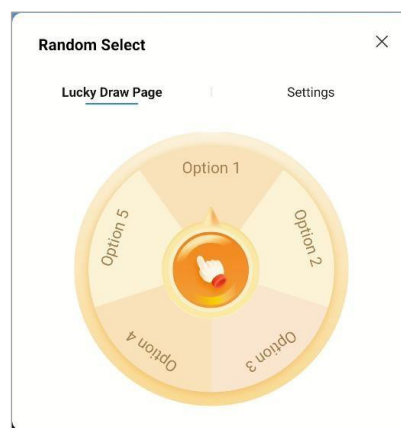


Figure 5-13 ラッキーホイール

Note

設定をタップすると、オプションの名前を変更できます。

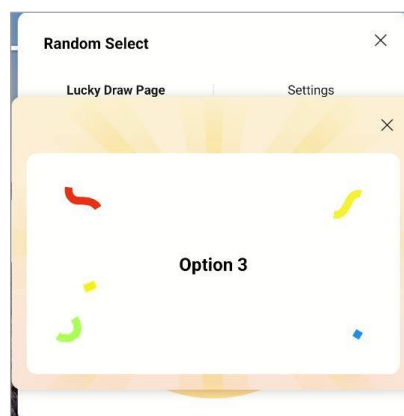


Figure 5-14 選択したオプション

5.6 カメラ機能

5.6.1 カメラ

カメラをクリックして、写真やビデオを撮影します。

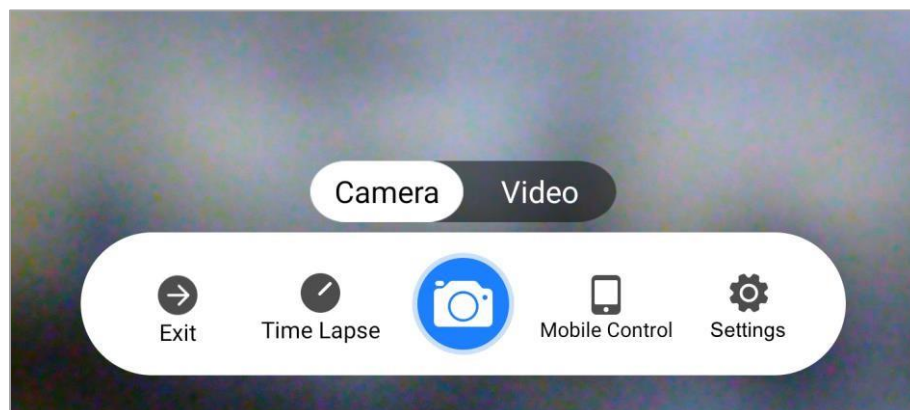


Figure 5-15 カメラ

Table 5-5 スクリーンショットツールバーの説明

アイコン	説明
	カメラを終了します。
	選択した遅延時間に応じて写真の撮影を遅らせます。
	写真を撮影します。撮影した写真はホワイトボードにインポートしたり、スマートフォンに保存したりできます。
	携帯電話とデバイスが同じ LAN に接続されている場合、コードをスキャンしてカメラを制御し、写真を撮ることができます。

5.6.2 ビデオ

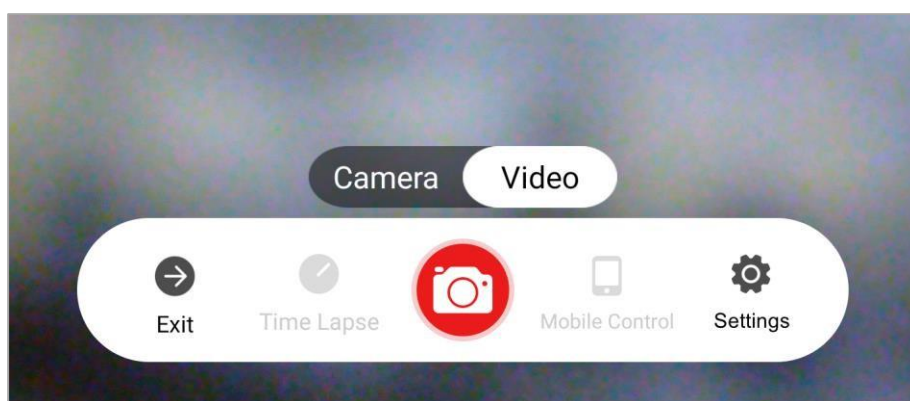


Figure 5-16 ビデオ

Table 5-6 スクリーンショットツールバーの説明

アイコン	説明
	ビデオを終了します。
	録画を開始します。

5.6.3 設定

設定をクリックして、以下のパラメーターを設定してください。

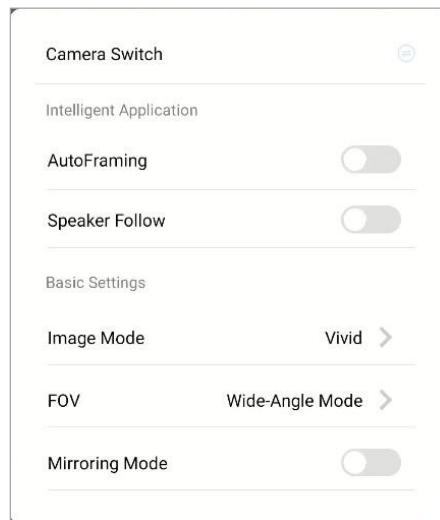


Figure 5-17 カメラの設定

カメラ切り替え:

[] をクリックして、システムカメラと外部カメラを切り替えます。

外部カメラに切り替える場合は、システムバーで [] をタップし、**カメラ設定**を調整します。

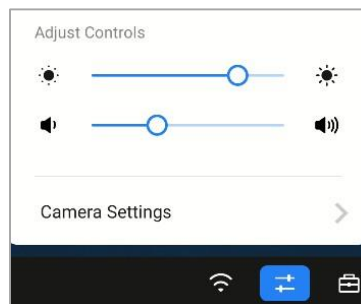


Figure 5-18 外部カメラの設定



Figure 5-19 外部カメラの設定オプション

インテリジェント アプリケーション:

- **自動フレーミング:** この機能を有効にすると、カメラは自動的に調整を行い、検出した顔を画面の中央に表示します。感度は、低、中、高の3つのオプションから選択できます。

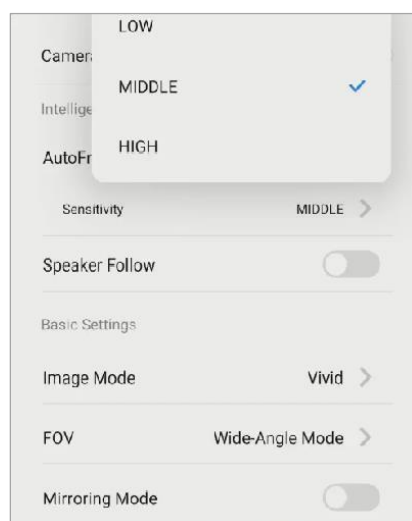


Figure 5-20 自動フレーミングの感度オプション

- **スピーカーフォロー:** この機能を有効にすると、カメラは検出したスピーカーを自動的に追跡し、スピーカーを画面の中央に表示します。感度は、低、中、高の3つのオプションから選択できます。



Figure 5-21 スピーカー追従感度オプション

基本設定

- **画像モード**: クリックして、**標準**、**鮮やか**、**逆光**などの画像モードを選択します。
- **FOV**: ワイドモードまたは**センターモード**を選択します。
- **画面ミラーリング**: この機能を有効にすると、カメラは画像を反転します。

章6 システム設定

デバイスを起動すると、画面にメイン画面が表示されます。画面を左右にスワイプすると、アプリケーション、デバイスの状態、およびヘルプ文書を表示できます。

6.1 ネットワーク設定

ネットワークの状態は、画面の下部に表示されます。

Table 6-1さまざまなネットワークステータス

アイコン	説明
	有線ネットワークに接続されています。
	ワイヤレスネットワークに接続されています。
	ネットワークに接続されていません。

6.1.1 有線ネットワークの設定

Step 1 設定→ネットワーク→有線ネットワーク。**Step 2** 有線ネットワークを有効にする。

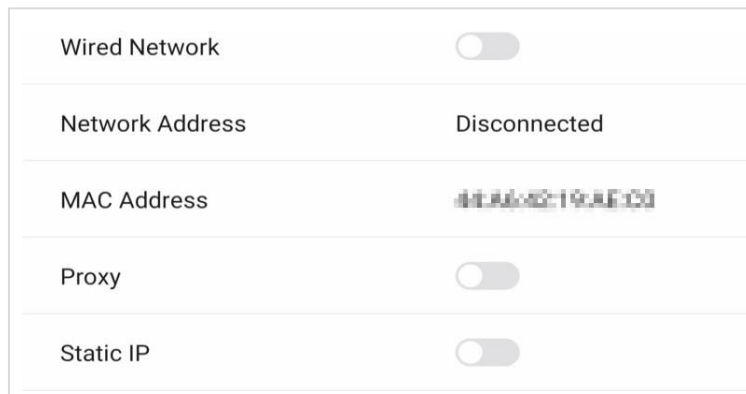


Figure 6-1有線ネットワーク設定

Step 3 オプション: プロキシまたは静的 IP を有効にするには、それをタップします。**プロキシ設定**

プロキシを有効にする場合は、プロキシホストとポート番号を設定し、プロキシを使用しない URL を設定する必要があります。

Proxy	☒
Port	192.168.1.100
Port No.	1080
The following address do not use	

Figure 6-2プロキシ設定

静的IP設定

静的 IP を有効にした場合は、**IP アドレス**、**ゲートウェイ**、**サブネットマスク**、**DNS1**、**DNS2** などのネットワークパラメータを設定する必要があります。

Static IP	☒
IP Address	
Gateway	
Subnet Mask	255.255.255.0
DNS 1	8.8.8.8
DNS 2	8.8.8.8

Figure 6-3静的IP設定

6.1.2 ワイヤレスネットワークの設定

Step 1設定⇒ ネットワーク⇒ ワイヤレスネットワークに移動します。

Step 2WLAN を有効にすると、新しいネットワークを追加したり、利用可能なネットワークに接続したりすることができます。

利用可能なネットワークに接続する

- 利用可能なネットワークの一覧から目的のネットワークをタップし、パスワードを入力して接続します。
- **接続**をタップすると、ネットワーク情報ページがポップアップ表示されます。ネットワークを削除するには、**ネットワークを削除**をタップします。**キャンセル**をタップして、ページを終了します。

IP Address	10.25.220.159
MAC Address	94-F1-5F-37-9A-2E
Connecting Speed	173Mbps
Security	WPA/WPA2
Cancel Clear Network	

Figure 6-4ワイヤレスネットワーク情報

その他のネットワークを追加

Step 1その他のネットワークを追加をタップします。

Step 2wi-Fi 名を入力し、セキュリティを選択します。

Add Network	
Please input Wi-Fi name	
Security	OPEN >
☒ Display Advanced Options	
Proxy	None >
IP Settings	DHCP >
Cancel Connect	

Figure 6-5その他のネットワークを追加

Step 3オプション: **[詳細設定を表示]** をチェックして、プロキシとネットワーク IP タイプを選択します。

Step 4**[接続]** をタップして、デバイスを追加したワイヤレスネットワークに接続します。

6.1.3 WLAN ホットスポット設定

デバイスが有線ネットワークに接続されると、WLAN ホットスポットを有効にしている他のデバイスにワイヤレスネットワークを提供することができます。

Step 1設定→ネットワーク→ホットスポット。**Step 2**ポータ

ブル WLAN ホットスポットを有効にします。

ホットスポット隔離: ホットスポット隔離を有効にすると、デバイスがLANに接続されていても、LAN内のウェブサイトなどのリソースにアクセスできません。

Step 3 ポップアップページでパラメータを設定します。

Portable WLAN Hotspot	☒
Device Name	Please input network SSID
Security	WPA2 PSK >
Password	 
AP Frequency	5 GHz >
AP Channel	153 >
Hotspot Isolation	☐

Figure 6-6 ホットスポット設定

Note

デバイスが2.4 GHzと5 GHzの両方をサポートする場合、**AP周波数**に5 GHzを設定し、**APチャンネル**に推奨チャンネルを設定すると、ワイヤレス画面ミラーリングなどの機能のパフォーマンスが向上します。

6.2 ディスプレイ設定

設定→ディスプレイに移動して、明るさやスリープ時間などのパラメータを調整します。

Display	
Auto Brightness	☐
Brightness Parameter	
Bluelight Filter	☐
Color Temperature	Normal Mode >
Theme	Trendy >
Wallpaper	>
Sleep	Close >
Screensaver	Close >
Screensaver Configuration	>

Figure 6-7 ディスプレイ設定

自動明るさ

この機能は、有効にすると、環境に応じて自動的に明るさを調整します。

明るさ設定

スライダーをスライドさせて画面の明るさを調整します。

ブルーライトフィルター

ブルーライトをフィルタリングして目を保護する機能を有効にします。

色温度

タップして、ハイライト、ノーマル、クールカラー、ウォームカラーモードを選択します。

テーマ

デバイスのテーマを設定します。**設定**をタップして希望のテーマを選択し、**適用**をタップします。**壁紙**

壁紙をタップして、壁紙ライブラリまたはシステム画像ライブラリから希望の画像を壁紙として選択するか、デフォルトの壁紙に戻すことができます。

スリープ

スリープモードの無操作時間を設定します。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーを有効にするまでの無操作時間を設定します。

スクリーンセーバーの設定

ポップアップページでスクリーンセーバーの画像をタップして選択し、**ライブビュー**をタップして効果をプレビューします。

適用をタップして、選択した画像をスクリーンセーバーに設定します。スクリーンセーバーはさらにカスタマイズ可能です。



Note

スクリーンセーバーの**設定**で、新しいスクリーンセーバーの画像を追加できます。**+**をタップしてください。

6.3 オーディオ設定

Step 1 設定の [→] **[オーディオ]** に移動して、オーディオのパラメータを設定します。**Step 2** 音量値を調整します。

Step 3 (オプション) オーディオモードとノイズリダクションレベルを選択します。

Step 4 (オプション) **音収集エリア**：音収集エリアの範囲は、設定に応じてリアルタイムで変化します。

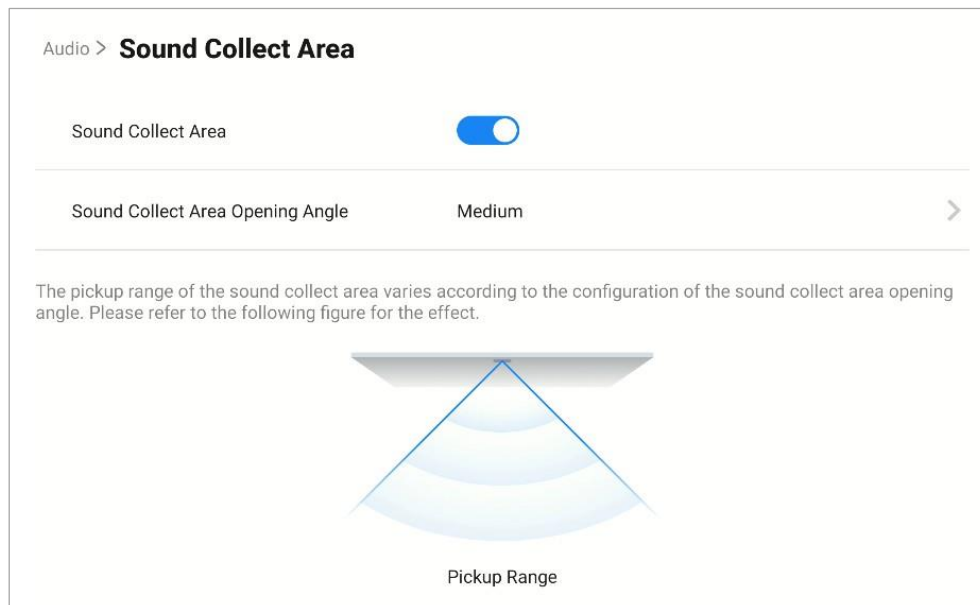


Figure 6-8 サウンド収集領域

6.4 言語と入力の設定

Step 1 設定 → 言語と入力 に移動します。

Step 2 言語 をタップして、ご希望の言語を選択します。

Step 3 入力方法をタップして、希望の入力方法を選択します。



Figure 6-9 言語と入力の設定

6.5 日付と時刻の設定

Step 1 [設定] → [日付と時刻] に移動します。

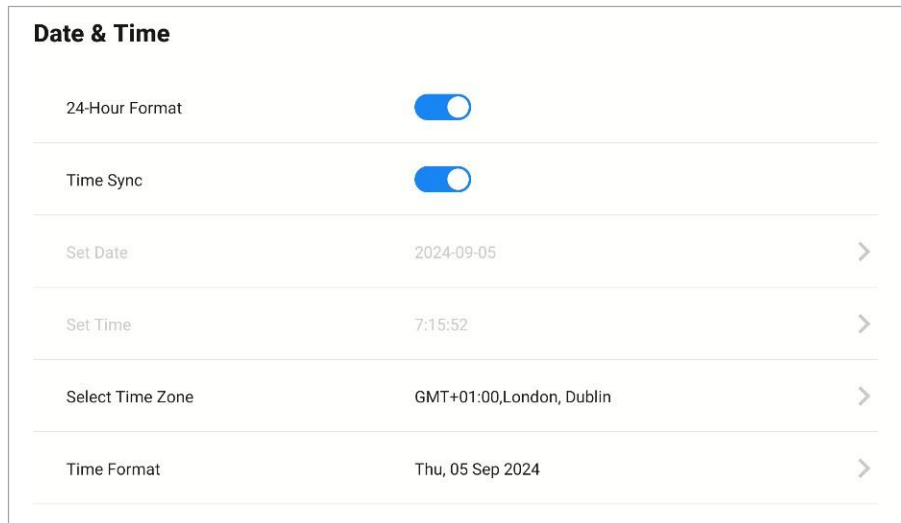


Figure 6-10 日付と時間設定

Step 2 タイムシンクを有効にします。

Step 3 「タイムゾーンを選択」をタップして地域を選択します。

Step 4 (オプション) 24 時間形式で時刻を表示するには、[24 時間形式] を有効にします。Step 5 (オプション) [時刻形式] を選択します。



Note

タイムシンクが無効の場合、日付と時間を手動で設定できます。

6.6 アプリケーション管理

Step 1 [設定]、[→]、[アプリケーション管理] の順に選択します。

Step 2 詳細を確認するアプリケーションをタップします。

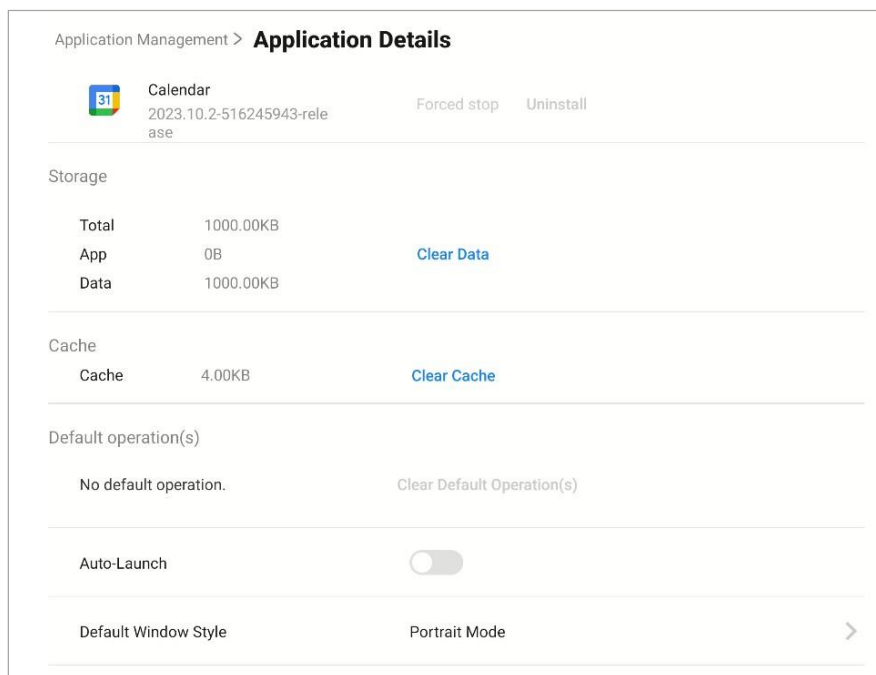


Figure 6-11 アプリケーションの詳細

Note

- 組み込みアプリケーションはアンインストールできません。アプリケーションの詳細をタップすると、アプリケーションを開くことができます。
- サードパーティ製アプリケーションをインストールした後、4Kディスプレイを有効にできます（機器を再起動後に適用されます）。

Step 3 自動起動を有効にします。デバイスが電源投入されると、選択したアプリケーションが自動的に起動します。

Step 4 (オプション) ウィンドウのスタイル (縦向き/横向きモード) を選択します。ウィンドウモードでアプリケーションを開くと、ウィンドウには対応するスタイルが表示されます。

6.7 Bluetooth

リモコン、オーディオ、キーボードなどを Bluetooth 経由で接続したり、ファイル転送を行うことができます。

Bluetooth を有効にすると、周辺にある利用可能なデバイスを検索し、接続したいデバイスをタップして接続できます。

6.8 補助機能

インテリジェント温度制御

デバイスは、内部温度をリアルタイムで監視します。温度が設定された警告またはアラームの温度制限を超えた場合、デバイスは、タイムリーに対策を講じるよう促すメッセージを表示します。

Step 1設定→ 補助機能→ 温度制御に移動します。

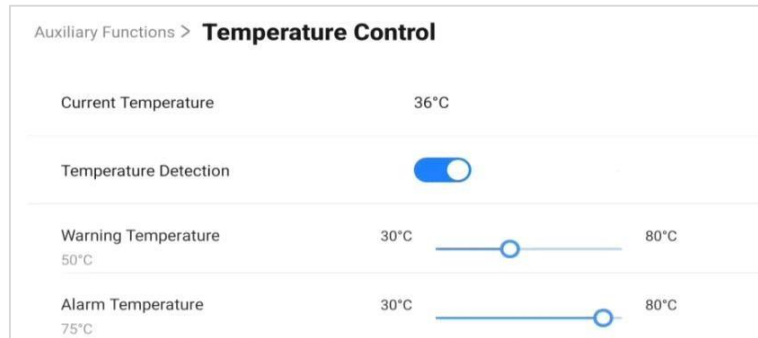


Figure 6-12 インテリジェント温度制御

Step 2温度検出を有効にします。

Step 3スライドして警告温度とアラーム温度を設定します。



温度が設定アラーム温度制限を超えた場合、ポップアップメッセージの指示に従ってデバイスの電源を切ってください。

6.8.2 スマートリモートコントロール.

リモコン（オプション）を使用して、デバイスを制御することができます。

設定→ 補助機能→ スマートリモコンで、リモコン設定ページに入ります。

6.9詳細設定

設定を選択し、→、詳細設定を選択します。以下のパラメーターを設定できます。

Advanced Settings		
Email	Settings	>
Input Source Settings	Settings	>
Select Camera	None	>
Input Device	System microphone	>
Output Device	System speaker	>
Startup/Shutdown	Settings	>
Device Permission	Settings	>
QR Code Sharing Settings	Share in LAN Only	>
Wakeup Settings	Settings	>

Figure 6-13詳細設定

電子メール

ホワイトボードから共有されたコンテンツを受信するためのメールアドレスを設定します。

入力ソース設定

● 起動時の入力ソース

デバイスの起動時に使用する入力ソースを選択します。内蔵システムまたは外部入力ソースを選択できます。デフォルトの起動入力ソースは **Android** です。入力ソースをカスタマイズ
名前がサポートされています。

● 信号源接続時の自動切り替え

この機能が有効になっている場合、外部入力ソースが接続されると、システムは自動的に新しい入力ソースに切り替わります。

● 信号源から切断された際に自動切替

この機能が有効になっている場合、デバイスが外部入力ソースから切断されると、システムは設定された入力ソースに切り替わります。

カメラの選択

デバイスにバインドされている外部カメラの中から、カメラを選択します。

入力装置

外部 USB 入力オーディオデバイスに対応しており、複数のデバイスからオーディオ入力デバイスを選択できます。

出力装置

外部 USB オーディオ出力デバイスに対応しており、複数のデバイスからオーディオ出力デバイスを選択できます。

起動/シャットダウン設定



起動モード

起動または待機を選択してください。



スケジュールされた起動/シャットダウン

起動とシャットダウンのスケジュールを設定します。



信号なしでのシャットダウン

信号がない場合の自動シャットダウンの時間を設定します。

デバイス権限設定



Wi-Fiを無効にする

Wi-Fi を無効にすると、デバイスはワイヤレスネットワークに接続できなくなります。



コピー権限オフ

USB ディスクからのコピーが無効の場合、デバイスは外部ディスクから読み取れません。

QRコード共有設定

インタラクティブフラットパネルと同じ LAN 内またはインターネット接続可能な他の端末デバイスで QR コードをスキャンすることで、ホワイトボードの内容を共有できます。

起動設定



シリアルポートからの起動

この機能を有効にすると、スタンバイ状態のデバイスをシリアルポートコマンドでウェイクアップすることができます。



シグナルソースからの起動

HDMI 信号によるウェイクアップは、デフォルトで有効になっています。デバイスの電源がオフの場合、HDMI 入力により電源をオンにすることができます。

Note

この機能を無効にすると、スタンバイ状態のデバイスは、電源スイッチまたはリモコンの電源スイッチで起動でき、シリアルポートおよび HDMI では電源をオンにできません。

EDIDバージョン

EDIDのバージョンを選択可能です。

HDMI出力設定

HDMI インターフェースを介してデバイスを接続し、コンテンツを共有します。希望する解像度を設定し、HDCP (高帯域幅デジタルコンテンツ保護) を有効にし、オーディオを出力デバイスまたは両方のデバイス (インタラクティブフラットパネルと出力デバイス) で再生するかどうかを選択できます。

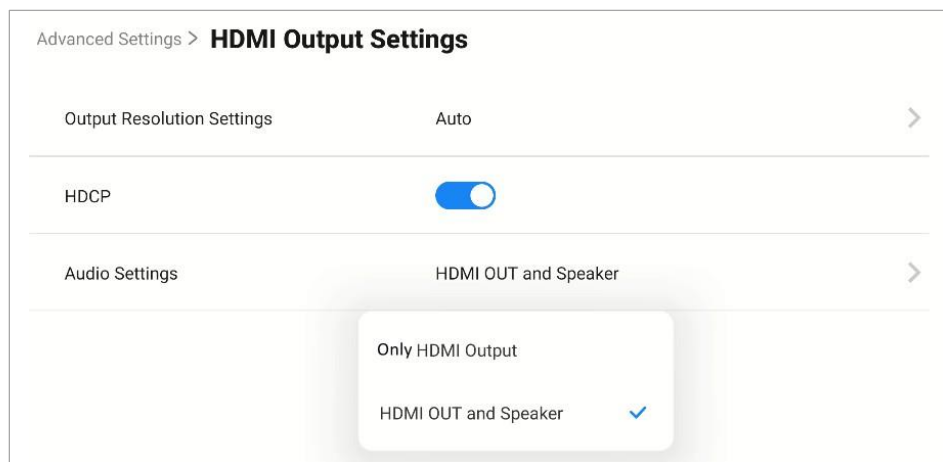


Figure 6-14HDMI オーディオ設定

Note

HDCP機能を有効にするには、フラットパネルに接続されたディスプレイがHDCP機能に対応している必要があります。

ブートアニメーション設定

- USBフラッシュドライブのルートディレクトリにアニメーションファイルを配置し、[ブートアニメーションを設定]をクリックします。システムは自動的に適切なアニメーションファイルを検出し、置き換えます。
- 「ブートアニメーションのリセット」をクリックすると、工場出荷時の設定に戻ります。

Note

ブートロゴは BMP 形式、画像のビット深度は 8 ビットである必要があります。ブートアニメーションファイルは PNG または JPG 形式である必要があります。

6.10 ユーザー設定

共有インタラクティブフラットパネルに複数のアカウントを追加し、各アカウントのサインイン情報を設定、複数の人とデバイスを共有し、各自のファイル、ブラウザのお気に入り、設定を確認できます。

設定→ユーザー設定に移動し、マルチユーザー設定を有効にすると、デバイスのアカウントを管理できます。

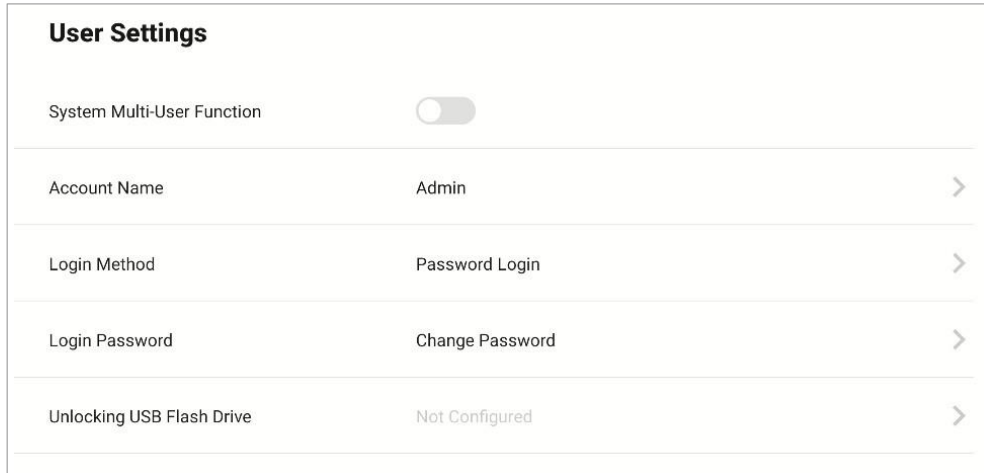


Figure 6-15 ユーザー設定

Table 6-2 アイコン 説明

アイコン	説明
	アカウントを追加します。 アカウント名を64文字以内で設定してください。パスワードを4～6桁で設定してください。
	アカウントを切り替える。対応するアカウントのパスワードを入力してログインしてください。
	アカウントの情報を編集します。
	アカウントのパスワードを編集します。
	アカウントを削除します。このアカウントのデータはデバイスからも削除されます。

USB フラッシュドライブのロックを解除

USB フラッシュドライブでログイン方法を設定します。設定後、USB フラッシュドライブを挿入するだけで直接ログインできます。

手順

Step 1 「usb フラッシュディスクのロック解除」をタップします。

Step 2 ログインパスワードを入力し、USB フラッシュドライブを挿入してください。

Note

- 通常のユーザーがパスワードを忘れた場合は、管理者にお問い合わせください。
- 管理者がパスワードを忘れた場合は、USBフラッシュドライブを使用してロックを解除してください。
- 管理者ログインでは、ログイン方法を「パスワードでログイン」または「パスワード不要」に設定できます。

Step 3 「ファイルを生成」をクリックしてください。デバイスは自動的にUSBフラッシュドライブにロック解除ファイルを生成します。ファイルが生成された後、次回はUSBフラッシュドライブを直接挿入するだけで簡単にログインできます。



Figure 6-16 アンロック用USBフラッシュドライブを接続してください

6.11 デバイス情報

設定→についてに移動し、デバイス情報を確認します。デバイス名はカスタマイズ可能で、デバイスをデフォルト設定に復元することができます。

Caution

設定をデフォルト状態に復元すると、すべてのデータが削除されます。

6.12 ネガティブ画面

画面の左側から右側にスライドすると、デバイスのステータスやシステムヘルプを表示できるネガティブ画面が表示されます。

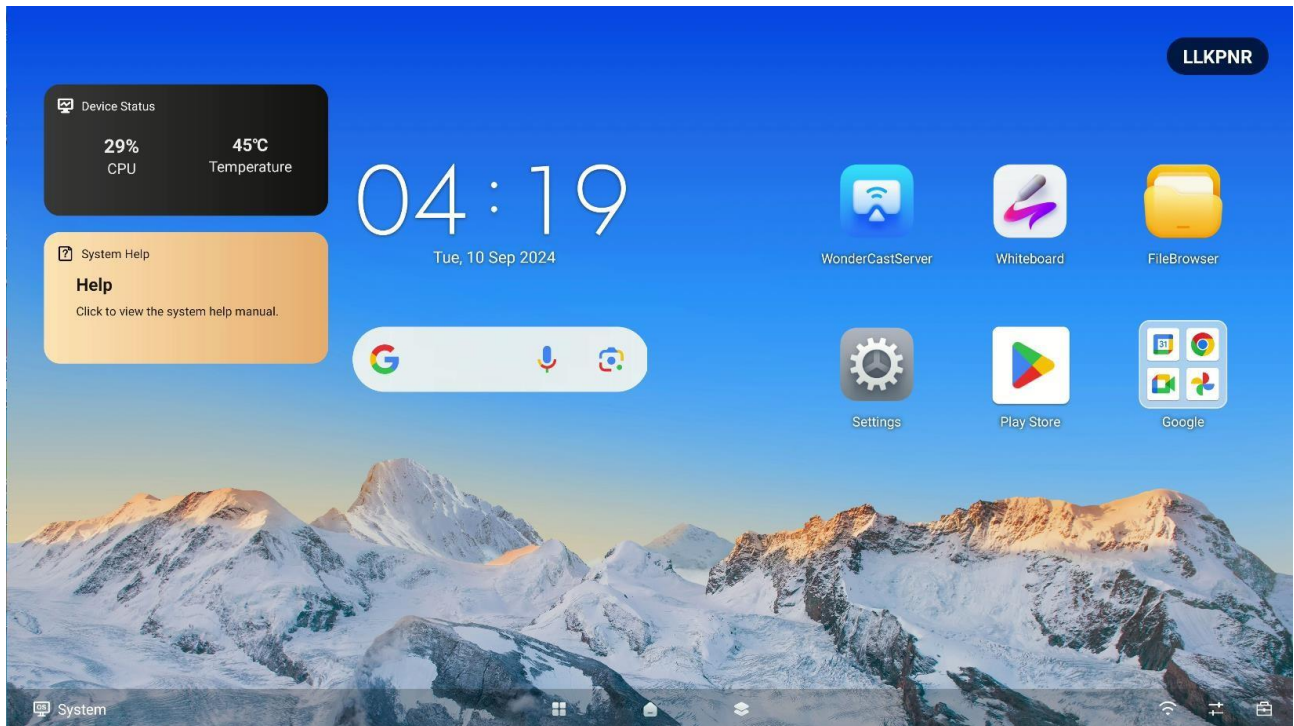


Figure 6-17 ネガティブ画面

第7章 インテリジェントアプリケーション

7.1 ファイルブラウザ

メインページで「ファイルブラウザ」をタップします。デフォルトでは、現在のディレクトリにあるすべてのファイルが表示されます。画像、ドキュメント、A/V、またはインストールパッケージをタップすると、指定したファイルが表示されます。

アイコンは次のように説明されています。

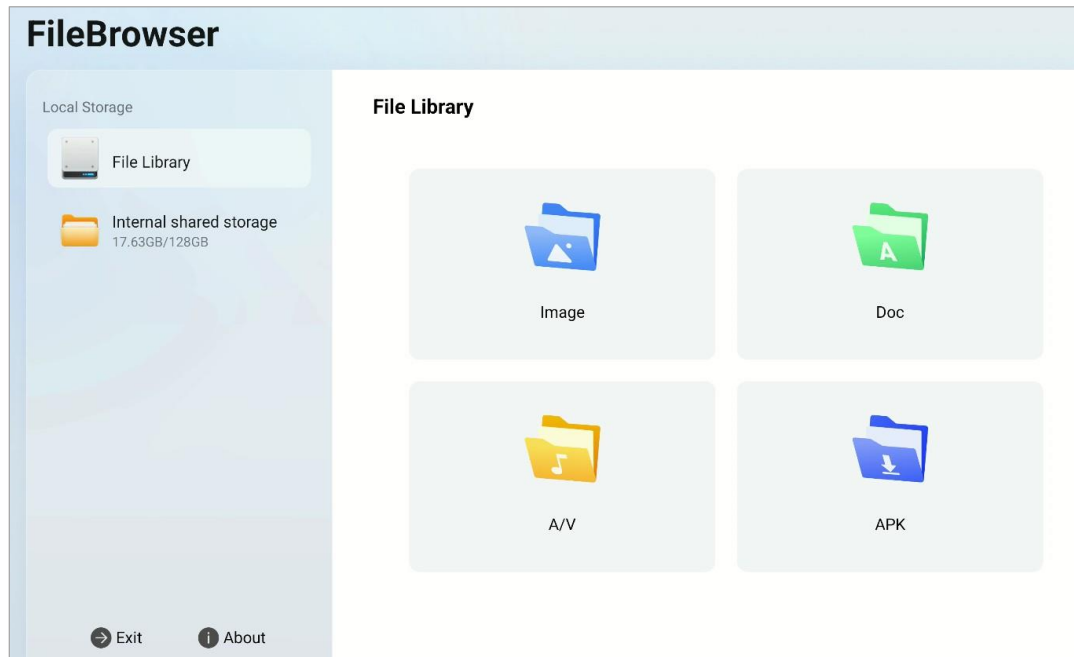


Figure 7-1 ファイル管理

Table 7-1 ファイル管理アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
戻る/進む	前のページ/次のページに移動します。	作成	新しいフォルダーを作成します。
グリッド/リスト	ファイルをグリッドまたはリスト表示で表示します。	並べ替え	ファイルの順序を変更します。
編集	ファイルを編集します。	—	—

「」をクリックしてドキュメントを編集します。その他の機能は以下に説明されています。

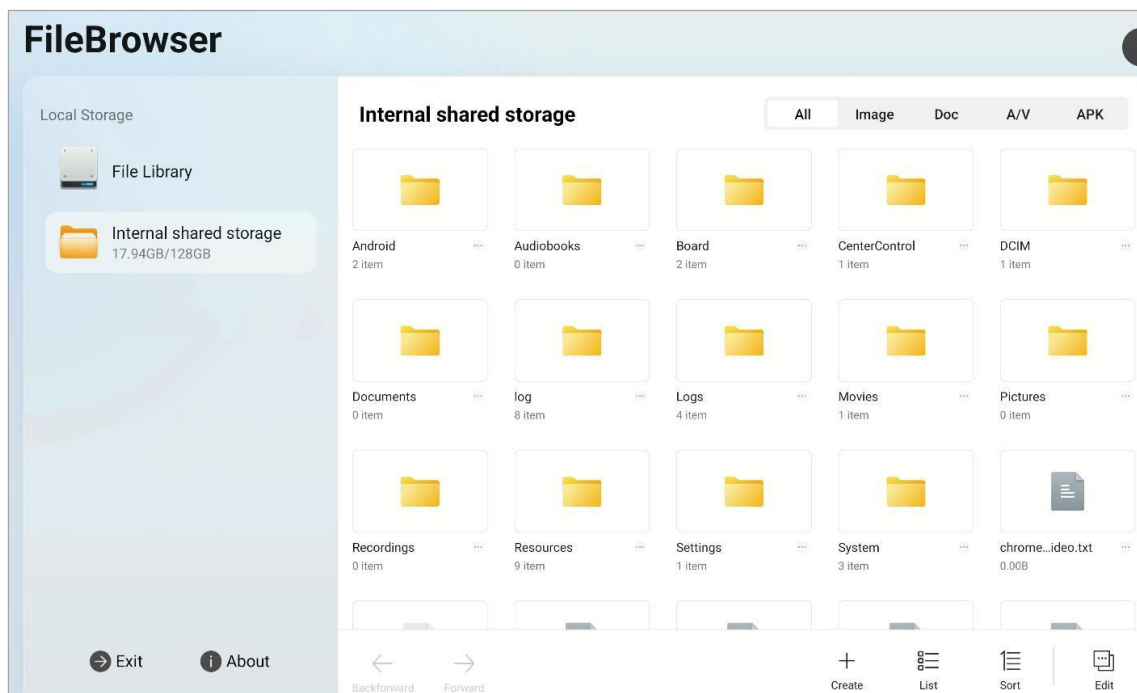


Figure 7-2 ファイルを編集する

Table 7-2 編集アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
すべて選択	すべてのファイルを選択してください。	コピー先	選択したファイルを別のフォルダーにコピーします。
移動	選択したファイルを別のフォルダーに移動します。	削除	選択したファイルを削除します。
共有	選択したファイルを共有します。		

Note

ファイルを長押しして、他の操作を実行します。

7.2 ブラウザ

デバイスをインターネットに接続し、**[ブラウザ]** をタップします。アドレスバーに **URL** を入力して、インターネット上のテキスト、画像、オーディオ、ビデオを表示します。

7.3 ホワイトボード

ホワイトボードは、タッチ入力、画像の挿入、コンテンツの共有などの機能を統合した編集ソフトウェアです。ユーザーは、タッチ入力、消去、

- : 選択した領域の線の色を統一して変更します。
- : 選択した領域内のコンテンツを削除します。
- : 選択した領域内のコンテンツをロックします。領域を長押しするか、 をタップしてロックを解除します。
- : 領域内のコンテンツをコピーします。

Note

- 選択した領域内のコンテンツのサイズ変更、移動、回転に対応しています。
- 選択した領域の外側をタップして、領域の選択を解除します。

元に戻すまたはやり直し

誤って書き込んだり消去したりした場合、元に戻すツールを使用して操作を元に戻すことができます。

- : クリックして直前の操作を元に戻します；
- : クリックして前の操作をやり直す。

7.3.2 その他のツール

ツールバーの「」をタップすると、以下のツールが表示されます。

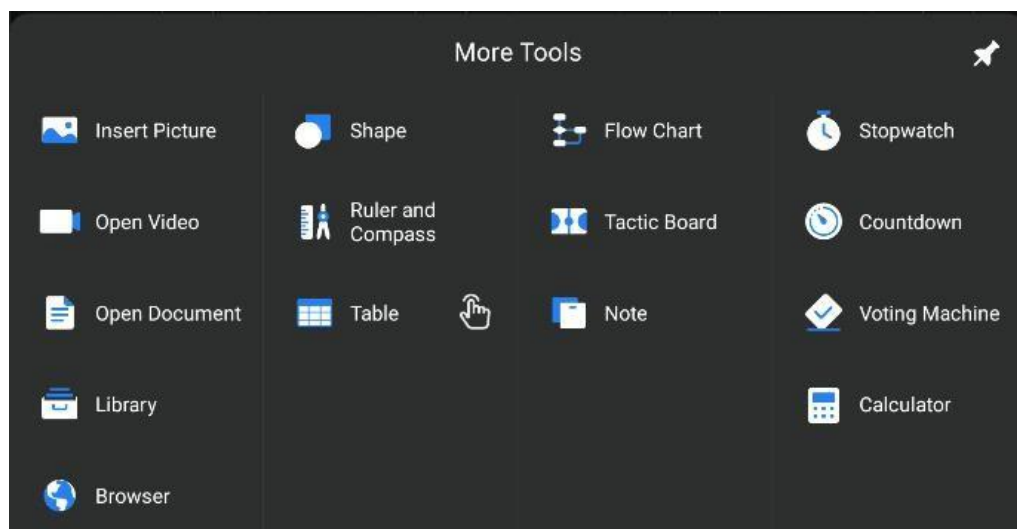


Figure 7-5 その他のツール

Table 7-3 ツール 説明

アイコン	名前	説明
	形状	2Dと3Dの形状を挿入します。
	定規 と コンパス	定規、分度器、定規、コンパスを使用します。ドラッグしてサイズと角度を調整します。
	表	● 表を挿入します。 ● テーブルを長押しして行または列を追加/削除します; ● テーブルをドラッグして移動またはサイズ変更します; ● テーブルをタップして、テーブルに書かれたコンテンツの色を変更します。 ●  をクリックし、形状認識を有効にします。水平線と垂直線を引くと、テーブル認識がトリガーされます。
	フローチャート	● ホワイトボードにフローチャートを描くために、異なる形状と線を選択できます。 ●  をクリックして、図形バーを固定します。
	戦術ボード	タップしてバスケットボールの戦術ボードを作成します。
	メモ	メモを挿入します。メモの移動、サイズ変更、コピー、色の変更が可能です。
	ストップウォッチ	ストップウォッチを開きます。
	カウントダウン	カウントダウンを開きます。
	投票機	投票機を開きます。
	計算機	計算機を開きます。
	画像の挿入	画像を挿入した後、その画像をロック、サイズ変更、移動、回転、削除したり、その領域に書き込んだ内容の色を変更したりすることができます。
	ビデオを開く	ビデオファイルを再生します。
	ドキュメントを開く	PPT、PPTX、DOC、DOCX、PDF形式のドキュメントを表示します。
	ライブラリ	タップして画像やビデオを検索し、挿入します。
	ブラウザ	ホワイトボードの横にあるブラウザを呼び出します。

Note

-  をクリックすると、サイドバーが表示されます。

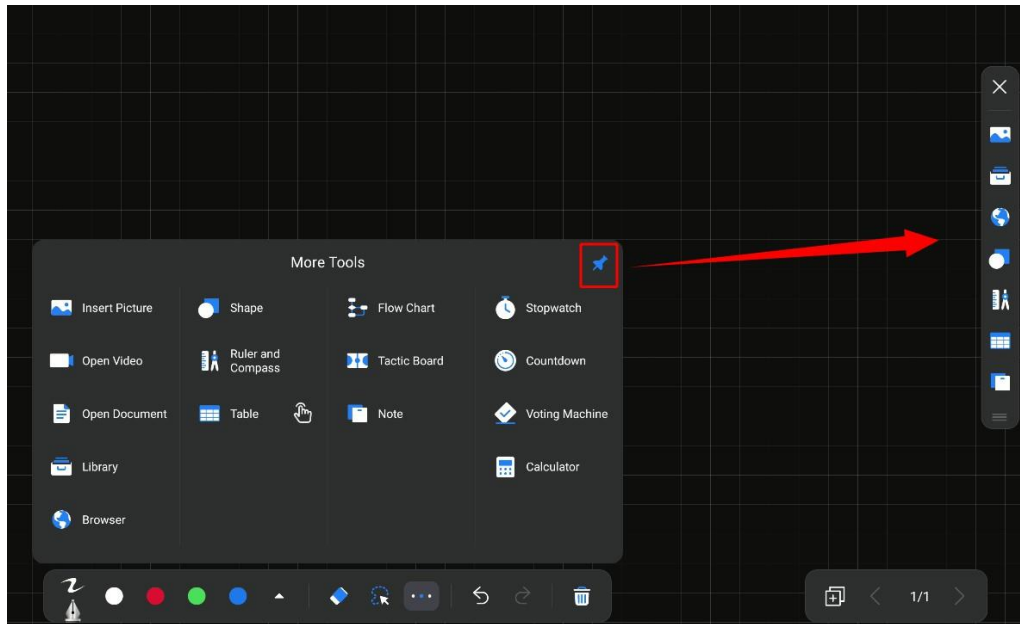


Figure 7-6 ツールサイドバー

- 形状や表の任意の角に線を引くと、その部分を拡大できます。

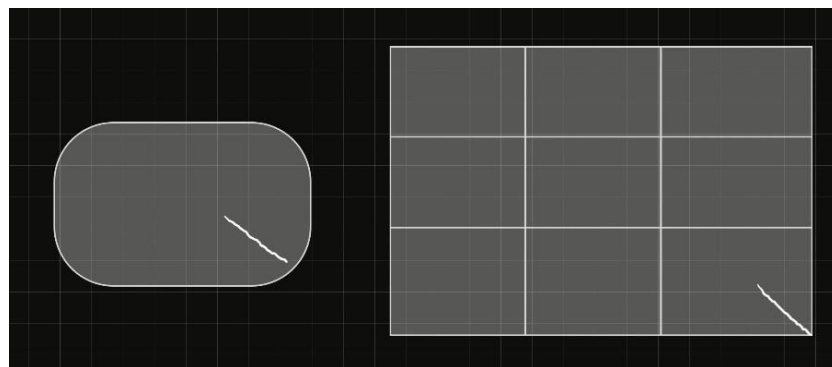


Figure 7-7 形状とテーブルを拡大

- ライブラリとブラウザは、ホワイトボードアプリケーションが全画面表示の場合にのみサポートされます。

戦術ボード

- 1) 「」をタップしてタクティクスボードを作成します。「」をドラッグしてプレイヤーの位置を変更します。
- 2) 画面の右下にある「」を有効にすると、プレイヤーに線を描画できます。線の種類が提示され、選択できます。

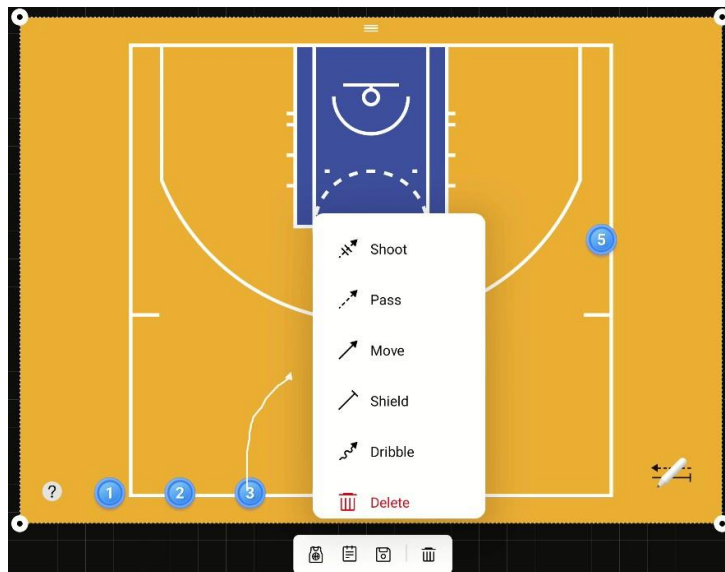


Figure 7-8線タイプを選択

- 3)  をクリックしてプレイヤーの数を選択します。  をクリックして戦術を選択します。

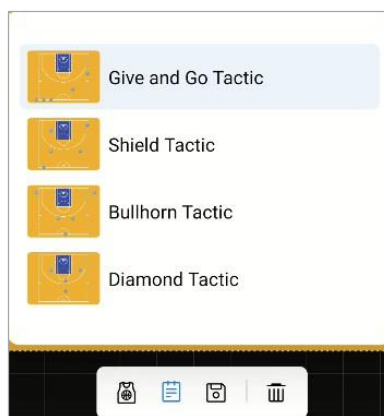


Figure 7-9戦術を選択

- 4) ボード上に独自の戦術を描き、 をクリックして戦術の名前を付け、保存してください。保存した戦術は、 から確認できます。
- 5) 画面左下の「」をクリックして機能ガイドを表示します。

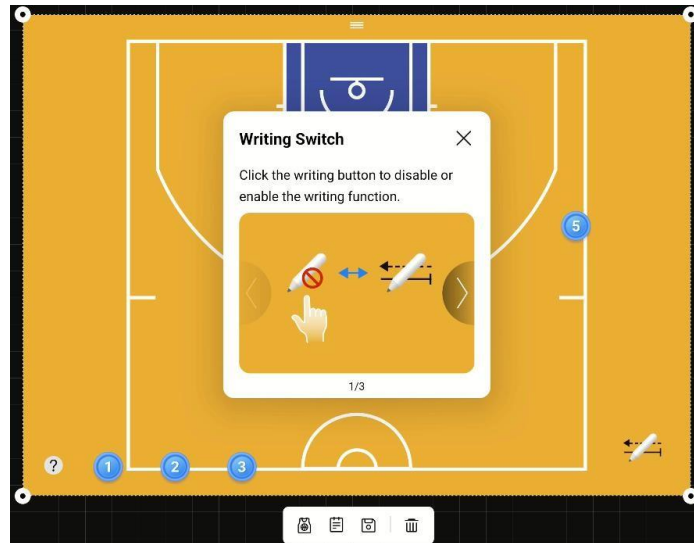


Figure 7-10機能ガイド

7.3.3 ホワイトボードの管理

新しいホワイトボードを作成、ホワイトボードを切り替え、ホワイトボードを削除できます。

Table 7-4機能の説明

機能	説明
ホワイトボードを追加	画面右下の「   Note

ホワイトボードを閉じると、すべての情報がリセットされます。

7.3.4 ホワイトボードを保存

ホワイトボードの内容が完了したら、ページをデバイスにローカル保存して参照したり、他者と共有したりできます。

Step 1 ホワイトボードの左下にある「48

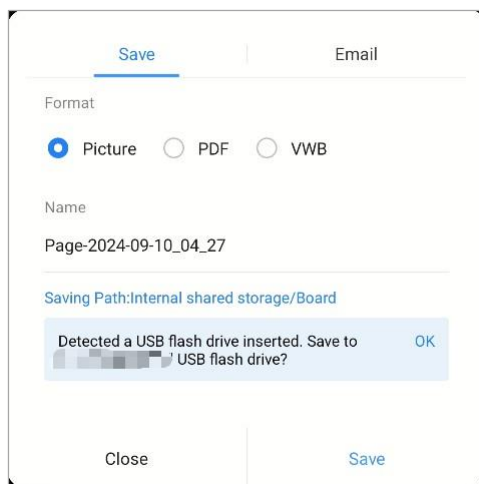


Figure 7-11 ホワイトボードを保存

Step 2 形式を選択してください。



ボードを PNG 形式の画像、PDF 形式のドキュメント、または編集可能な VWB 形式のファイルとして保存できるようにサポート。

Step 3 (オプション) ボードの名前を編集します。 **Step 4 [保存]**

をタップします。

7.3.5 ホワイトボードを共有する

ユーザーはメールまたは QR コード経由でホワイトボードを他者と共有できます。

メールで共有

ホワイトボードの左下にある「」をタップし、メールを選択します。



Note

共有を開始する前に、メールサーバーが正しく設定されていることを確認してください。

QRコードで共有

画面左下の「」をタップしてください。インターネットに接続されているモバイルデバイスまたはインタラクティブフラットパネルと同じ LAN 内に接続されているデバイスは、コードをスキャンしてホワイトボードの内容をダウンロードできます。

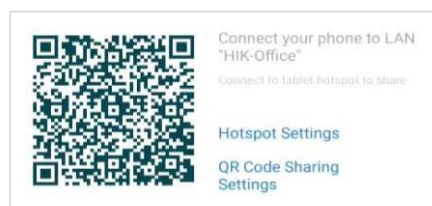


Figure 7-12 QRコードで共有

7.3.6 その他の機能

ホワイトボードの左下にある「」をタップすると、画面分割や2色での書き込みなどの機能を利用できます。

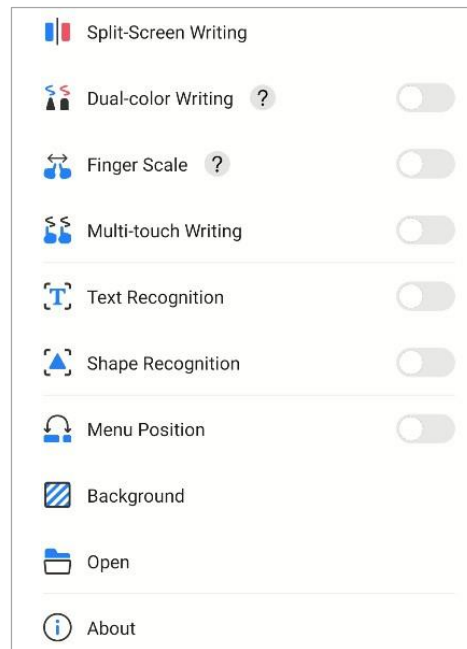


Figure 7-13 その他の機能

分割画面書き込み

分割画面でホワイトボードの同時書き込みをサポートします。

- 「」または「」をタップして、2画面または3画面を切り替えます。
- 「」をタップして、分割画面書き込みモードを終了します。



分割画面の数を変更したり、分割画面での編集を終了したりすると、現在のコンテンツは保存されません。

2色書き込み

有効にすると、筆記ペンの先端と尾部に異なる色を選択して筆記することができます。



- ストロークサポートを長押しして、ペンの閾値を調整できます。
- 「」をクリックすると、機能ガイドが表示されます。

指スケール

有効にすると、指でページをズームイン/ズームアウトできます。 をクリックして機能ガイドを確認できます。

マルチタッチ書き

有効化後、ホワイトボードはマルチタッチに対応し、複数の指で同時に編集が可能になります。

テキスト認識

有効化後、ホワイトボードは描かれたテキストを認識し、通常のテキストに修正します。

形状認識

有効化後、ホワイトボードは描かれたグラフィックを認識し、通常のグラフィックに修正します。



- 認識可能な形状には、円、三角形、四角形、および線が含まれます。
- テキスト認識と形状認識は、同時に有効にすることはできません。

メニューの位置

有効化後、ホワイトボードの左側のメニューと右側のページ番号が入れ替わり、機能アイコンとメニューに簡単にアクセスできるようになります。

背景

ホワイトボードの背景とシェーディングを設定し、必要に応じてホワイトボードの背景スタイルをカスタマイズできます。

開く

VWB形式で保存されたホワイトボードファイルを開き、再編集できます。

について

現在のバージョンとオープンソース契約を確認します。

7.4 WonderCastServer

7.4.1 NFC 画面ミラーリング

NFC対応のAndroidスマートフォンは、画面をインタラクティブフラットパネルにミラーリングできます（スマートフォンにWonderCastがインストールされており、NFCが有効になっている場合のみ）。

Step 1 スマートフォンとディスプレイを同じLANに接続するか、スマートフォンをディスプレイのホットスポットに接続します。

Step 2 スマートフォンの背面をインタラクティブフラットパネルのNFCエリアに貼り付け、スマートフォンに表示されるプロンプトに従って操作すると、画面がミラーリングされます。

7.4.2 その他の画面ミラーリング

PCやスマートフォンの画面をインタラクティブフラットパネルにミラーリングしたり、PCやスマートフォンからフラットパネルを操作したりできます。WonderCastServerの詳細については、以下のQRコードをスキャンしてください。



Figure 7-14 WonderCastServer

7.5 システムにプリインストールされているアプリケーション

以下の表は、システムにプリインストールされているアプリケーションを簡潔に説明しています。詳細については、対象のアプリケーションのヘルプドキュメントを参照してください。



Note

システムにプリインストールされているアプリケーションは、デバイスタイプによって異なります。

Table 7-5 システムにプリインストールされているアプリケーションの紹介

アプリケーション	概要
ホワイトボード	描画や書き込みに使用されます。コンテンツの保存、移動、拡大、縮小、削除、ダウンロードが可能です。
ファイルブラウザ	ファイルを管理します。
ブラウザ	デバイスがネットワークに接続されると、ブラウザでインターネット情報を閲覧することができます。
ギャラリー	SDカードとUSBメモリ内の画像を表示するために使用されます。
アップグレード	リモートアップグレードとローカルアップグレード、およびローカルコンポーネントのアップグレードを提供します。
WonderCastServer	フラットパネル、スマートフォン、またはPCを接続して画面ミラーリングを行うためのアプリケーションです。
カメラ	カメラで写真を撮るために使用します。
Ark	中央管理プラットフォームとのドッキングに使用され、プラットフォーム経由でデバイスのリモート管理（ファイル送信やリモートアップデートなど）が可能です。

FocSign Player	デジタルサイネージにプログラムやスケジュールを配信するために使用されます。
Google Play ストア	デバイスがアプリ、ゲーム、書籍、映画、その他のエンターテインメントコンテンツを検索してダウンロードできるマーケットプレイスです。
Google Maps	世界中の地理的地域や場所に関する詳細な情報を提供します。
Google Photos	写真やビデオのライブラリ全体を無料でバックアップするサービスです。
Google Drive	クラウドストレージサービスで、ファイルをオンラインでアップロード、同期、共有できます。
Google TV	ストリーミングアプリ、ライブ TV、パーソナライズされたおすすめ情報を 1 つの統合ユーザーインターフェースにまとめたプラットフォームです。
Google Chrome	Google が開発した、インターネット上のウェブページにアクセスするための無料のウェブブラウザです。
Gmail	Google が提供する無料サービスで、ユーザーがインターネット経由でメールの送受信を行うことができます。
Google	これは Google が提供する検索エンジンです。
Google Meet	ビデオ会議サービスです。
YouTube	ビデオを共有するためのソーシャルメディアプラットフォームおよびウェブサイトです。
YouTube Music	Google が提供する音楽ストリーミングサービスです。
Google カレンダー	Google が開発した時間管理とスケジュール管理ツールです。

第8章 付録A FAQs

質問	原因と解決方法
画面に頻繁に凝縮表示が表示されるのはなぜですか？	保護のために、外側のスクリーンには強化ガラスが取り付けられています。スクリーンと強化ガラスの間には、空気の対流のための隙間があります。その主な理由は、スクリーンと外部の温度差によるものです。高温の空気は、低温のガラス表面で結露し、水滴になります。結露は、デバイスの起動後に蒸発し、デバイスの使用には影響はありません。
接続してもノートパソコンから音が出ないのはなぜですか？	オーディオケーブルのみにアクセスしている場合、オーディオ出力と画像出力の両方が使用できなくなります。 ● HDMIケーブルに接続してください。 ● Windows で、オーディオ出力デバイスとしてデバイスを選択してください。
使用後、画面が熱くなるのはなぜですか？	画面の温度上昇は熱放散によるもので、完全に正常な現象です。当社の熱放散設計は業界をリードするもので、業界標準の策定者であり、国家の健康基準に準拠しています。
長時間使用は目に害を及ぼしますか？	人間の目によるフリッカーの認識周波数は50Hzです。周波数が50Hz未満の場合、フリッカーが認識され、目の筋肉の疲労を引き起こします。当社は60HzのLCD画面を採用しているため、人間の目は画面のフリッカーを認識しません。同種の他の製品と比べて、目の疲労を大幅に軽減できます。
画面に画像が表示されない、またはデバイスから音が出ないのはなぜですか？	● 電源ケーブルが接続されていることを確認してください。 ● ソケットが正常に動作しているか確認してください。 ● 電源スイッチがオンになっていることを確認してください。
デバイスの HDMI チャンネルに入力信号がないのはなぜですか？	● 入力ソースが正常に動作しているか確認してください。 ● HDMI インターフェースまたはケーブルを変更してください。 ● PCにアクセスしている場合、PCのHDMI出力を設定してください。
有線ネットワークが不安定なのはなぜですか？	自動ネットワーク検出オプションを無効にしてみてください。